

# 中瀬小学校他2校プール施設改修工事 (中瀬、府中、三訪)

特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認		管理建築士	印
	図名 表紙	縮尺 -	図面番号 -	図面提出日			

# 中瀬小学校

## 図面リスト

No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	図面リスト	M-01	特記仕様書
A-01	特記仕様書1	M-02	図示記号・衛生器具表
A-02	特記仕様書2	M-03	平面詳細図 給排水衛生設備
A-03	特記仕様書3		
A-04	配置図兼仮設計画図・付近見取図		
A-05	平面図		
A-06	立面図		
A-07	平面詳細図		
A-08	断面詳細図		

特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名 (中瀬小学校) 図面リスト	図尺 NS	図面番号 A-00			
	図面提出日					

工事特記仕様書（改修）

Table with project details: 1. 工事名称 (Project Name), 2. 工事概要 (Project Overview), 3. 工事内容 (Project Content).

- III. 建築改修工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様

Main specification table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), and detailed construction requirements.

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), and detailed technical specifications for materials and methods.

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), and detailed safety and site management requirements.

Summary table at the bottom of the page containing project name, location, and administrative information.

④ 外壁改修工事

1 施工数量調査

・ 行う ・ 行わない  
調査範囲 ・ 全面 ・ ( )  
調査項目 ・ ひび割れ部 (幅0.2mm ~ 0.2mm~1.0mm ~ 1.0mm以上)  
・ はがれ及びはく落部分  
・ 浮き部  
調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 ( ・ 足場 ・ ゴンドラ)  
報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法
・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
・ タイル張り仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付仕上げ塗料塗り ・ 厚付仕上げ塗料塗り ・ 複層仕上げ塗料塗り ・ 可とう形改修用仕上げ塗料塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗料塗り

3 改修工法等 (4.2.2) (a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)

・ 樹脂注入工法  
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法  
注入力 ( ) 注入口間隔 ( )  
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法  
注入力 ( ) 注入口間隔 ( )  
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法  
注入力 ( ) 注入口間隔 ( )  
材料 ・ エポキシ樹脂JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂)  
・ 低粘度形 ・ 中粘度形  
コア採取検査 ・ 行う ・ 行わない  
・ 採取回数 ( )  
・ 採取部分補修方法 ( )

(4.2.2) (b) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)

・ Uカットシール材充填工法  
材料 ・ シーリング用材充填  
( ・ PU-1 ・ PU-2 ・ ( ) )  
・ 可とう性エポキシ樹脂充填  
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填  
・ 行う ・ 行わない

(4.2.2) (c) (4.3.6) (4.4.7)

・ シール工法  
材料 ・ パテ状エポキシ樹脂  
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2) (d) (4.3.7) (4.4.8)

・ 充填工法  
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル  
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2) (g) (4.4.9)

・ モルタル塗替え工法  
材料 ・ 既製目地材の適用及び形状 ( )  
仕上げ厚 ( )

(4.2.2) (e) (4.4.10) (図4.4.1)

・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法  
アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )

(4.2.2) (e) (4.4.11) (図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法  
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )

(4.2.2) (e) (4.4.12) (図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法  
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )

(4.2.2) (f) (4.4.13) (図4.4.3)

・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法  
注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.2.2) (f) (4.4.14) (図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法  
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.2.2) (f) (4.4.15) (図4.4.5)

・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法  
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ポリマーセメントスラリー ( )  
・ 注入口付アンカーピン ( ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( ) )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.2.2) (h) (4.5.7)

・ タイル部分張替え工法  
材料 ・ ポリマーセメントモルタル

・ 変成シリコン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
			I類(磁器)	II類(せっ器)	III類(陶器)			

・ 役物 ( ・ 一体成形 ・ 接着加工)  
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない  
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2) (h) (4.5.8) (表4.5.4)

タイルの種類	タイルの大きさ	工法		塗り厚(mm)
		・ 密着張り	・ 改良積み上げ張り	
・ 外装 タイル	小口以上二丁指付以下	・ 改良積み上げ張り	・ 改良積み上げ張り	5~8
		・ 改良積み上げ張り	・ 改良積み上げ張り	4~7
・ ユニットタイル	・ 25mm角を越え小口未満 ・ 小口未満	・ マスク張り	・ マスク張り	下地側 4~6 タイル側 3~4
		・ モザイクタイル貼り	・ モザイクタイル貼り	3~5

(4.5.15)

・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法  
注入口付アンカーピンの本数 ( 本)

(4.2.2) (h) (4.5.16)

・ 目地ひび割れ部改修工法  
・ 伸縮調整目地改修工法  
伸縮調整目地  
(位置 寸法 × )  
検査 シーリング接着性試験  
・ 行う ( ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

4 塗り仕上げ (4.2.2) (i) (表4.2.4(その1) (その2))

種類	呼び名	仕上げ形状	工法
薄付仕上げ塗料	・ 外装薄塗料E	・ 砂壁状	吹付け
		・ 砂壁状	吹付け
厚付仕上げ塗料	・ 外装厚塗料C	・ 平たん状	こて
		・ 凹凸状	こて
厚付仕上げ塗料	・ 外装厚塗料S ・ 外装厚塗料E	・ 砂壁状	ローラー
		・ 砂壁状	ローラー
複層仕上げ塗料	・ 複層塗料E ・ 複層塗料RE ・ 防水形複層塗料E ・ 防水形複層塗料RE	・ 吹付け	吹付け
		・ 吹付け	吹付け
可とう形改修用仕上げ塗料	・ 可とう形改修塗料E ・ 可とう形改修塗料RE ・ 可とう形改修塗料CE	・ 平たん状	ローラー
		・ 砂壁状	吹付け

・ 外装厚塗料Cの上塗料がセメントスタッコ以外の場合  
材所要量 ( kg/m<sup>2</sup>)

(4.7.2) (表4.7.1)

・ マスチック塗料塗り ・ A種 ・ B種  
仕上げ材塗り ( )

(表4.2.5)

複層仕上げ塗料の上塗料の種類

樹脂種類	溶媒種類		外 観	
	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ アクリル系	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ シリカ系	・ 水系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗料、防水形複層塗料、及び可とう形改修塗料には適用しない。

(4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・ サンダー工法	
・ 高圧水洗工法	
・ 塗膜はく剝離工法	
・ 水洗い工法	
・ テッキブラシ	
・ 高圧ポンプ	

(4.6.4) 下地調整

・ G-1 ・ G-2 ・ G-2 ・ E ・ ( )

(4.6.3) (b) (1) (6.16.3) (b) (1)

既製目地材 ・ 使用する (形状 : )  
床の目地 ・ 図示 (図面番号 : )

伸縮調整目地  
位置 ・ 図示 (図面番号 : )

タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
					I類(磁器)	II類(せっ器)	III類(陶器)			
・ 手洗いシンク	25角				○			○		

試験張り ・ 行う ・ 行わない  
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

7 塗装改修工事

1 材料 (7.1.3) (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。</li> <li>・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)</li> </ul>																																
2 下地調整 (7.2.1~7.2.2) (表7.2.1)~(表7.2.2)	<p>既存塗膜の除去範囲(塗り替えでR/B種の場合)</p> <p>・ 図示(図面番号: )</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 木部</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プラスター面</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> <tr> <td>・ せっこうボード、その他ボード面</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> </tr> </tbody> </table>	種別	下地	種別	ひび割れ部の補修	・ 木部	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 鉄鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ モルタル、プラスター面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種	・ RB種	・ RC種
種別	下地	種別	ひび割れ部の補修																														
・ 木部	・ RA種	・ RB種	・ RC種																														
・ 鉄鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種																														
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種																														
・ モルタル、プラスター面	・ RA種	・ RB種	・ RC種																														
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種	・ RB種	・ RC種																														
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種	・ RB種	・ RC種																														
・ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種	・ RB種	・ RC種																														
3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~(表7.3.4)	<p>錆止め塗料種別</p> <p>・ 亜鉛めっき鋼面</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>錆止め塗料塗り種別</p> <p>鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p>																																
4 合成樹脂調合ベイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~(表7.4.3)	<p>塗料種別 ・ 1種 ・ ( )</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 木部</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> </tbody> </table>	種別	下地	種別	・ 木部	・ A種	・ B種	・ 鉄鋼面	・ A種	・ B種	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種																				
種別	下地	種別																															
・ 木部	・ A種	・ B種																															
・ 鉄鋼面	・ A種	・ B種																															
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種																															
5 クリヤラッカー塗り(OL) (7.5.2) (表7.5.1)	<p>種別</p> <p>木部 ・ A種 ・ B種</p>																																
6 アクリル樹脂系非水分散形塗料(MAD) (7.7.2) (表7.7.1)	<p>種別</p> <p>・ A種 ・ B種</p>																																
7 耐水性塗料塗り(DP) (7.8.2)~(7.8.4) (表7.8.1)~(表7.8.3)	<p>上塗り等級</p> <p>・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>・ A-1種</td> <td>・ A-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ B-1種</td> <td>・ B-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ C-1種</td> <td>・ C-2種</td> </tr> </tbody> </table>	種別	下地	種別	鉄鋼面	・ A種	・ B種	亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A-1種	・ A-2種		・ B-1種	・ B-2種		・ C-1種	・ C-2種														
種別	下地	種別																															
鉄鋼面	・ A種	・ B種																															
亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種																															
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A-1種	・ A-2種																															
	・ B-1種	・ B-2種																															
	・ C-1種	・ C-2種																															
8 つや有合成樹脂エマルションベイント塗り(EP-6) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~(表7.9.4)	<p>種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>木部(屋内)</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(屋内)</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(屋内)</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> </tr> </tbody> </table>	種別	下地	種別	コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面	・ A種	・ B種	木部(屋内)	・ A種	・ B種	鉄鋼面(屋内)	・ A種	・ B種	亜鉛めっき鋼面(屋内)	・ A種	・ B種																	
種別	下地	種別																															
コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面	・ A種	・ B種																															
木部(屋内)	・ A種	・ B種																															
鉄鋼面(屋内)	・ A種	・ B種																															
亜鉛めっき鋼面(屋内)	・ A種	・ B種																															
9 合成樹脂エマルションベイント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	<p>種別</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>しみ止め ( )</p>																																
10 合成樹脂エマルション塗料塗り(EP-1) (7.11.2) (表7.11.1)	<p>種別</p> <p>A種 ・ B種 ・ C種</p>																																
11 ウレタン樹脂ウニス塗り(UO) (7.12.2) (表7.12.1)	<p>種別</p> <p>・ A種 ・ B種</p>																																
12 ラッカーエナメル塗り(LE) (7.13.2) (表7.13.1)	<p>種別</p> <p>・ A種 ・ B種</p>																																
13 木造保護塗料塗り(NP) (7.15.2) (表7.15.1)	<p>種別</p> <p>・ A種 ・ B種</p>																																

8の5 耐震改修工事

(あと施工アンカー) ① あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	<p>種類</p> <p>① 金属系 セットの方式 ② 木体打込み式 ( ・ 改良型 ③ 従来型)</p> <p>径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号: )</p> <p>引張耐力 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>せん断耐力 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>接合部の種類・径・長さ ③ 図示(図面番号: )</p> <p>・ 換気系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系</p> <p>径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号: )</p> <p>引張耐力 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>せん断耐力 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>アンカー筋の種類 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示(図面番号: )</p> <p>あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>④ 補強鉄筋と溶接接合する。</p> <p>穿孔</p> <p>埋込み配管等の探索の方法</p> <p>⑤ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管等の位置に墨出しを行う。</p> <p>・ はつり出しによる。</p> <p>・ ( )</p> <p>あと施工アンカーの施工確認試験 ⑥ 実施する ・ 実施しない</p> <p>確認試験方法</p> <p>⑦ 改修標準仕様書(8.12.5)による ・ ( )</p> <p>・ ( )</p> <p>⑧ ブロック鉄筋と溶接接合すること</p> <p>場所打ちコンクリート壁の増設工事</p> <p>3 シアコネクタ</p> <p>種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー</p> <p>・ 換気系あと施工アンカーの異形差筋アンカー</p> <p>径[mm] ・ D10</p> <p>長さ[mm] ・ 増打壁厚-40 ・ ( )</p> <p>埋込み深さ[mm] ・ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ・ ( )</p> <p>間隔[mm] ・ 500×500</p> <p>シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ( )</p>									
(場所打ちコンクリート壁の増設工事) ② あと施工アンカーの施工 (8.12.2) (8.12.4) (8.12.5)										
(場所打ちコンクリート壁の増設工事) ③ シアコネクタ (8.12.5)										
⑨ 建築用コンクリートブロック	<p>補強コンクリートブロック</p> <p>※ 空洞ブロック16 ・ 空洞ブロック16-W (8.2.2)</p> <p>※ 表 8.3.1 及び下表による (8.3.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>種別の記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 間仕切壁、地下二重壁、外壁、扉</td> <td>図示</td> <td>空洞ブロック 16</td> </tr> <tr> <td>・ 設備配管用ブロック積み</td> <td>100</td> <td>空洞ブロック 08</td> </tr> </tbody> </table>	適用箇所	厚さ(mm)	種別の記号	① 間仕切壁、地下二重壁、外壁、扉	図示	空洞ブロック 16	・ 設備配管用ブロック積み	100	空洞ブロック 08
適用箇所	厚さ(mm)	種別の記号								
① 間仕切壁、地下二重壁、外壁、扉	図示	空洞ブロック 16								
・ 設備配管用ブロック積み	100	空洞ブロック 08								
⑩ 鉄筋工事	<p>鉄筋工事</p> <p>標準仕様は、① 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(社団法人公共建築協会)</p> <p>② 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5</p> <p>・ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。</p> <p>・ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ定着長さは設計図書による。</p> <p>外観検査 ③ 有 ・ 無</p> <p>引張試験 ④ 有 ⑤ 無</p> <p>超音波深傷試験 ⑥ 有 ⑦ 無</p>									
⑪ コンクリート工事	<p>(1) コンクリート</p> <p>標準仕様は、① 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(社団法人公共建築協会)</p> <p>・ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5</p> <p>② 耐久設計基準強度F<sub>d</sub>は、短期 ③ 標準 ・ 長期 ・ 超長期</p> <p>④ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。</p> <p>⑤ 調査計画は、工事開始前に工事監理者の確認を得ること。必要に応じて試験練を行う。</p> <p>⑥ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラー)にて報告する。</p>									

⑦ 調査 ※土間コン、捨てコン等m<sub>s</sub>n補正不要部を除く

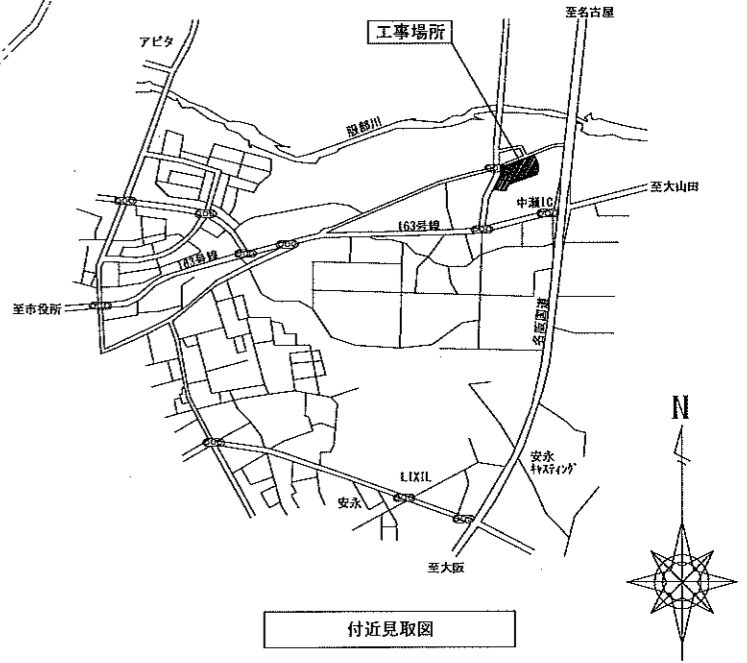
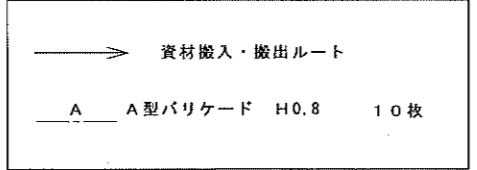
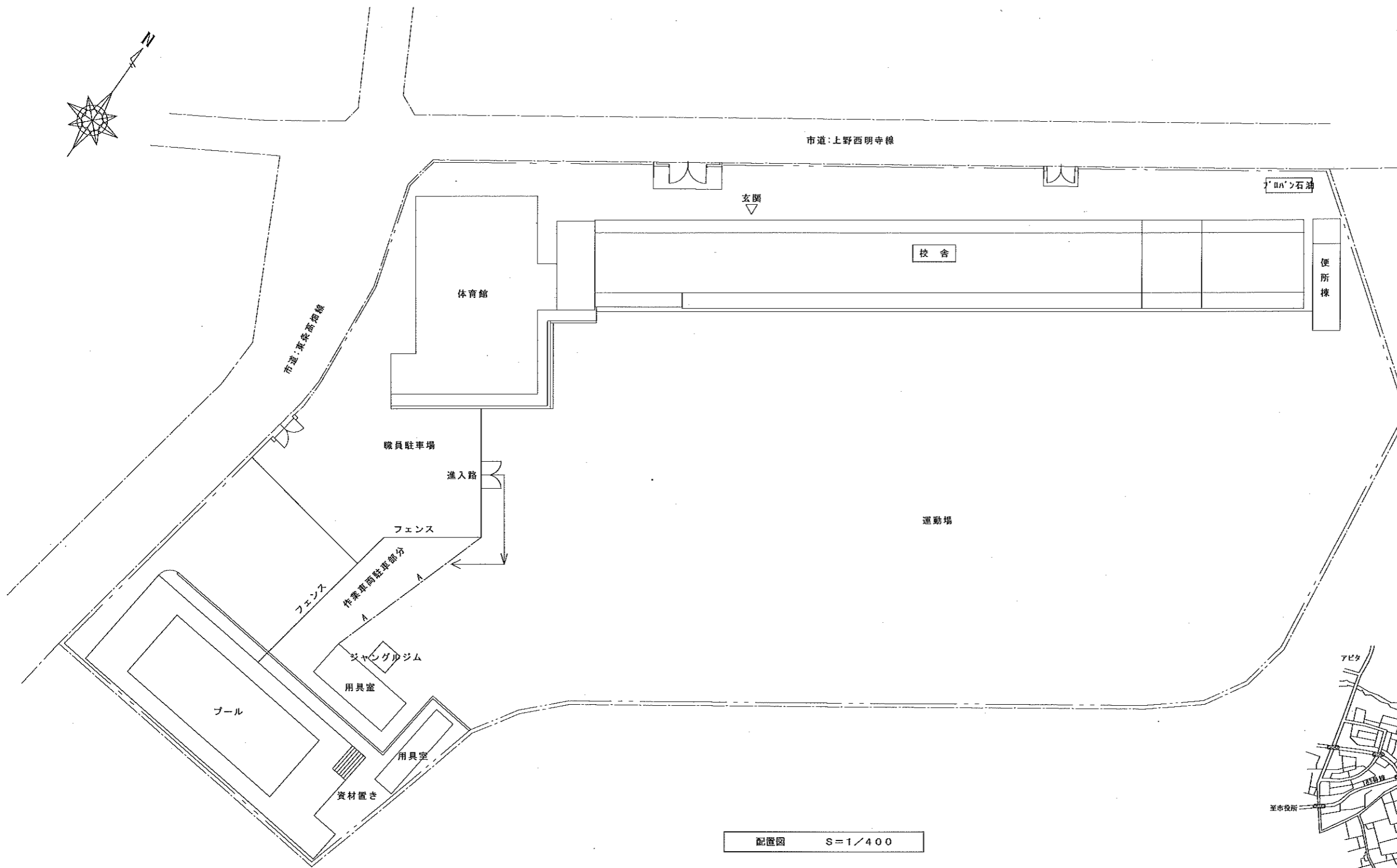
項目	鉄筋コンクリート	無筋コンクリート
設計基準強度 [N/mm <sup>2</sup> ]	24以下	18
単位水量 [kg/m <sup>3</sup> ]	185以下	185以下
単位セメント量 [kg/m <sup>3</sup> ]	270以上	—
水セメント比 [%]	A種: 65以下、B種: 60以下	—
空気量 [%]	4.5	4.5
塩化物量 [kg/m <sup>3</sup> ]	0.3以下	—

捨てコンクリート FC18N/mm<sup>2</sup> SL-15

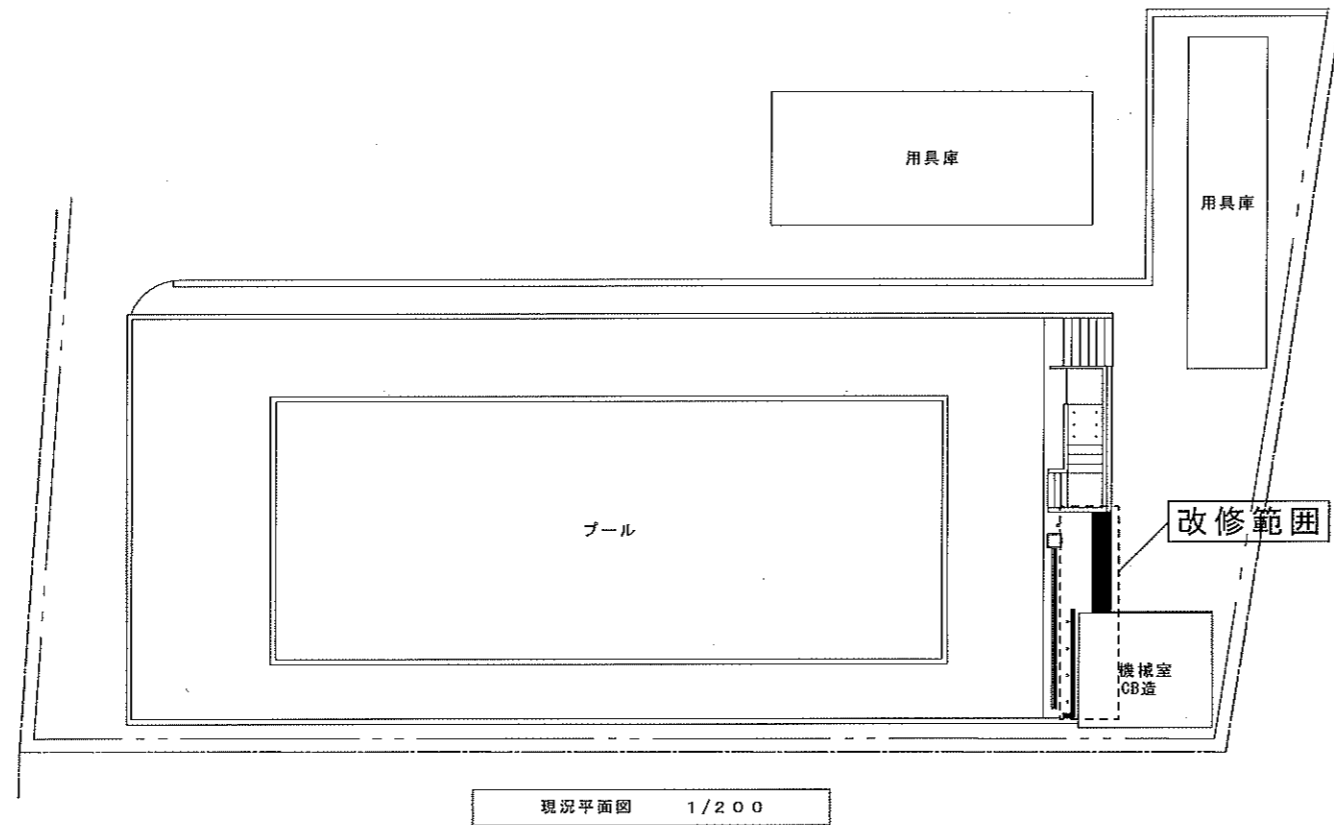
土間コンクリート FC21N/mm<sup>2</sup> SL-18

基礎コンクリート FC24N/mm<sup>2</sup> SL-18

上部コンクリート FC24N/mm<sup>2</sup> SL-18



特記	グラウンドを通行するため荒らした部分は現状復旧とする	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事	図名 (中瀬小学校)配置図 兼 仮設計画図・付近見取図	縮尺 1/400 (A2) 1/564 (A3)	図面番号 A-04	承認			管理建築士	印
	簡易バリケードは参考とし必要に応じて監督員と打合せすること									
	指定された部分以外駐車しないこと									
	授業時間以外の通行は禁止とする									
						図面提出日				

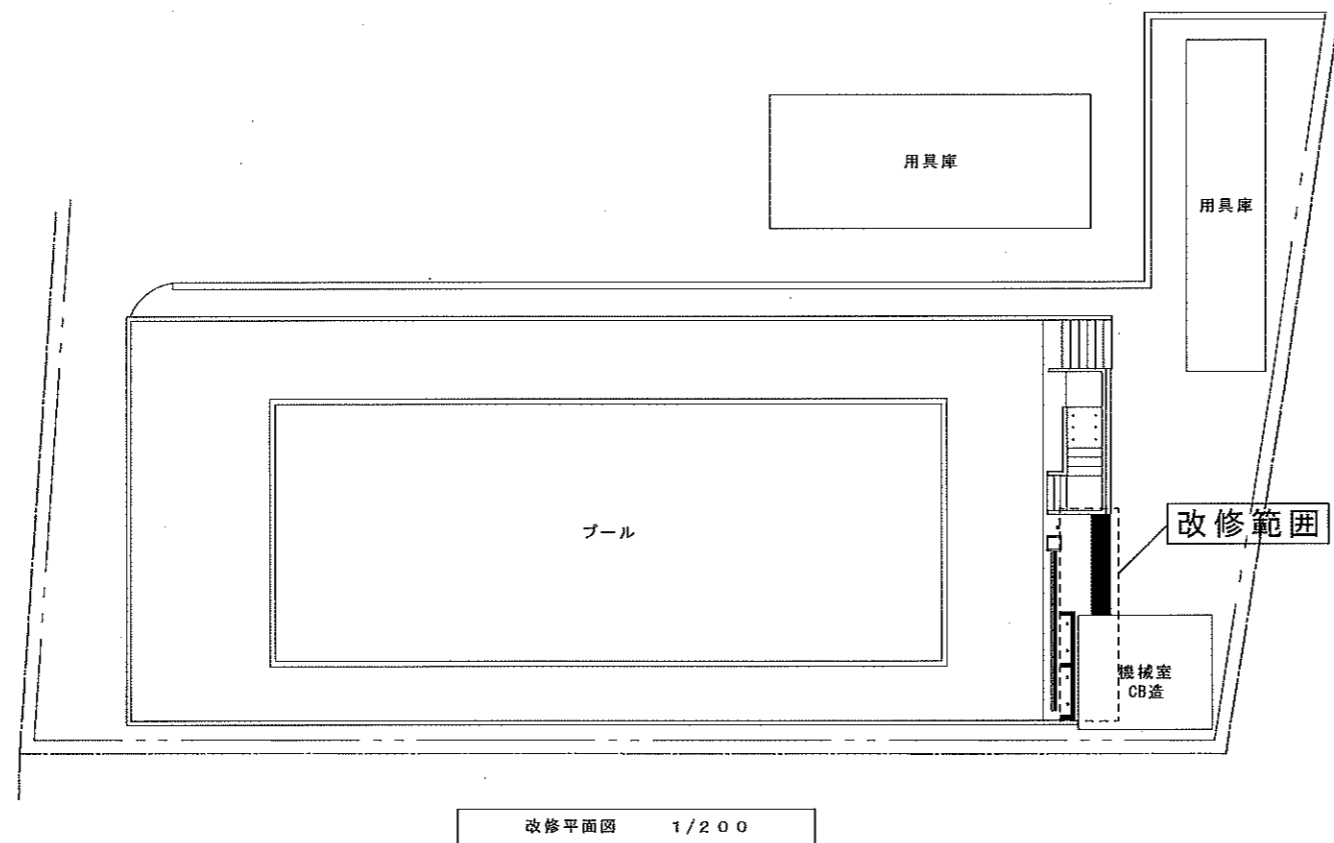


**撤去概要**

- ・改修範囲内の既存ブロック塀の撤去。
- ・シャワー・手洗い・眼洗いの撤去。
- ・控え壁の新設に伴う土間コンクリートの撤去。

現況  
↓  
改修

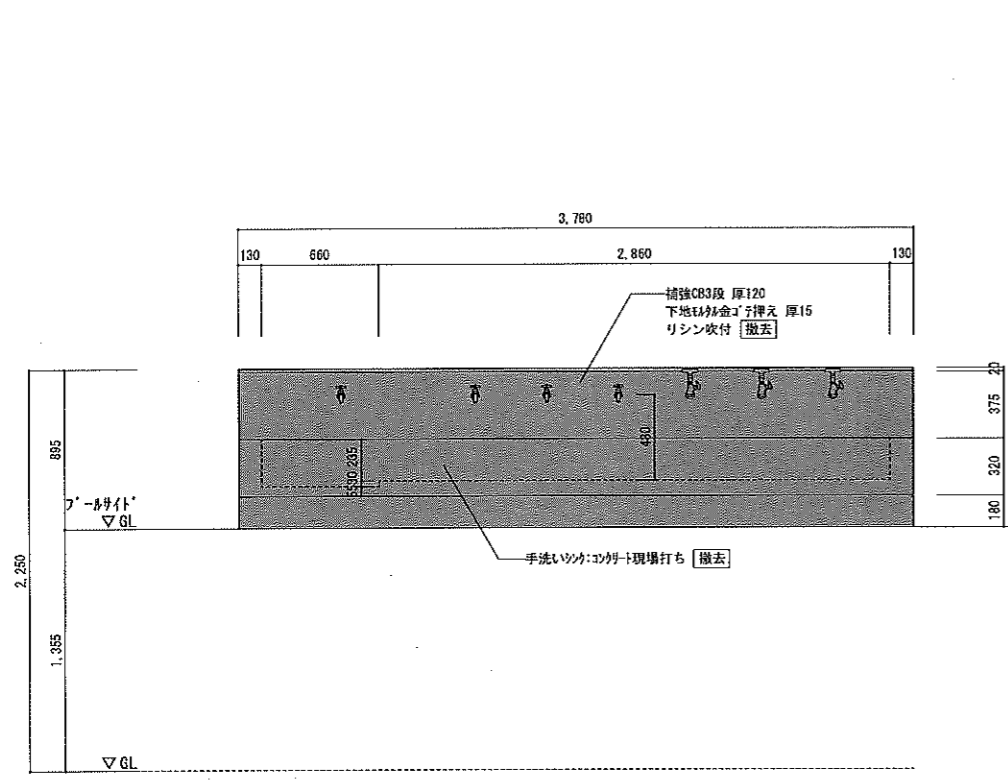
現況  
↓  
改修



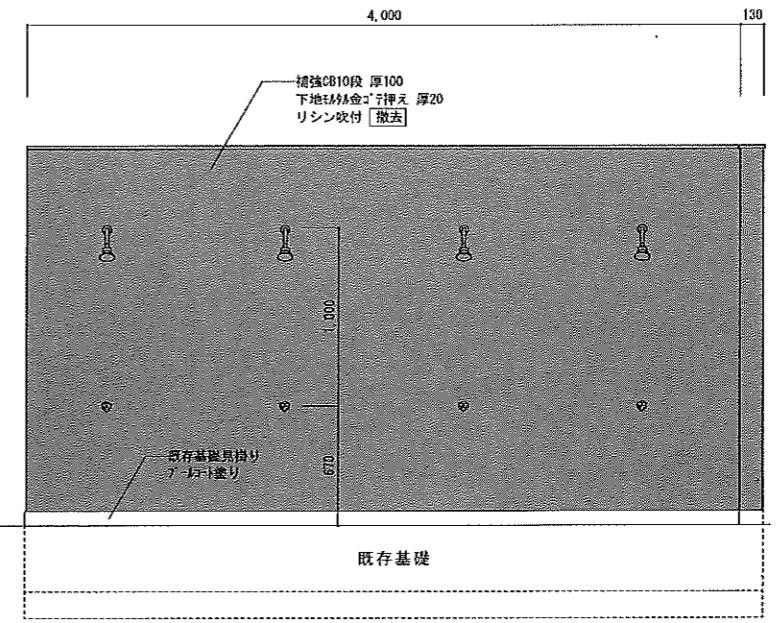
**改修概要**

- ・改修範囲内の既存ブロック塀の新設
- ・シャワー・手洗いの新設。
- ・控え壁の新設と、それに伴う土間コンクリートの復旧。

特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認		管理建築士	印
	図名 (中瀬小学校) 平面図	縮尺 1/200 (A2) 1/282 (A3)	図面番号 A-05	図面提出日			



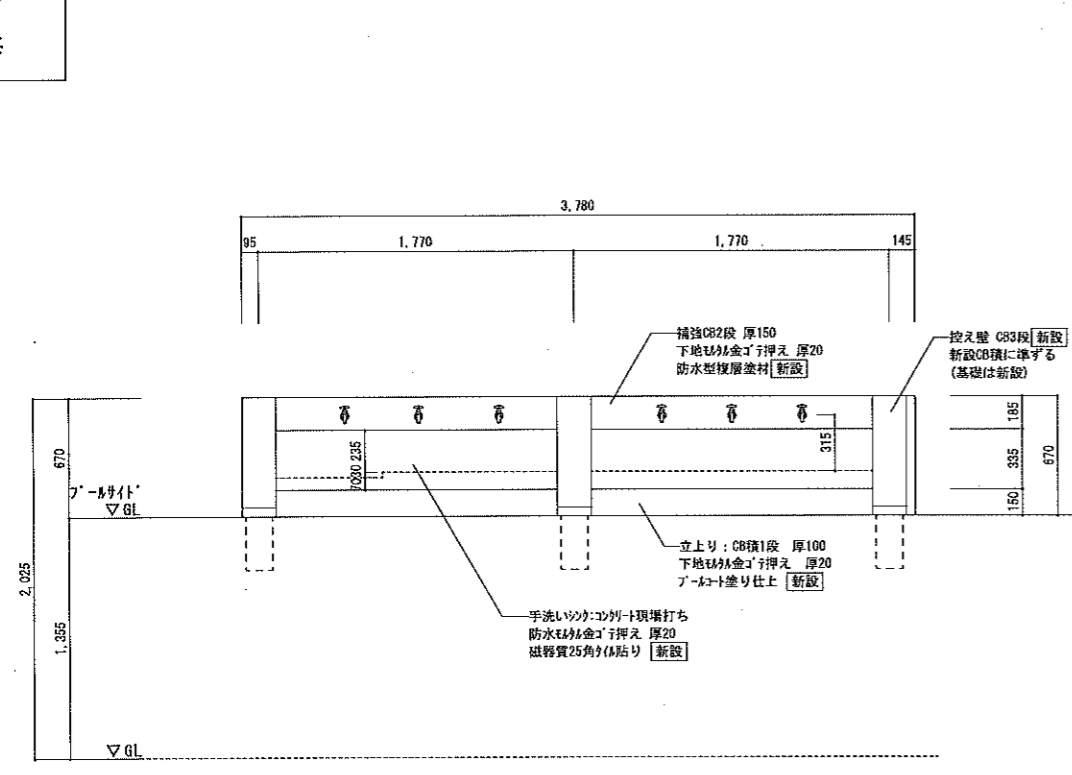
現況手洗・シャワー立面図 1/30



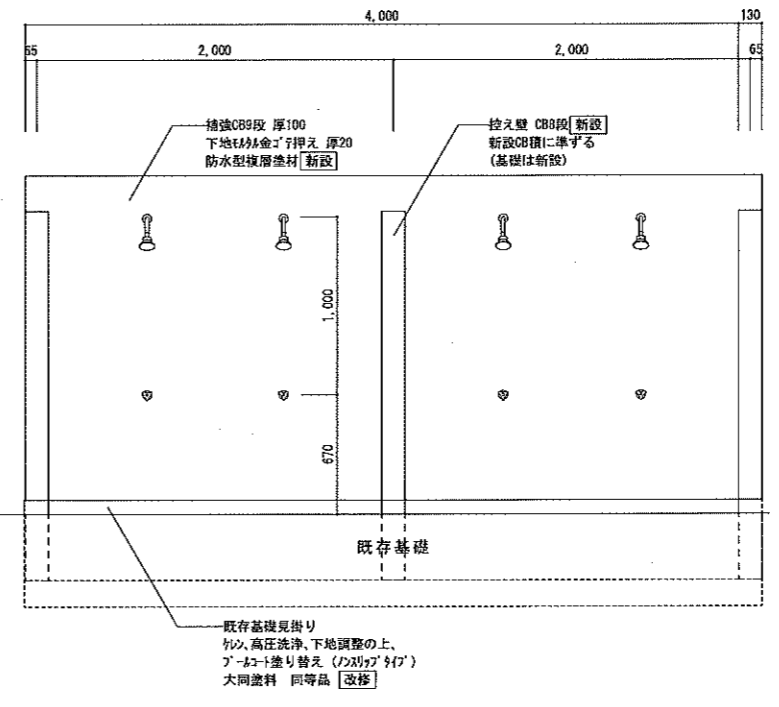
<凡例>  
 撤去範囲を示す。

現況  
  
 改修

現況  
  
 改修

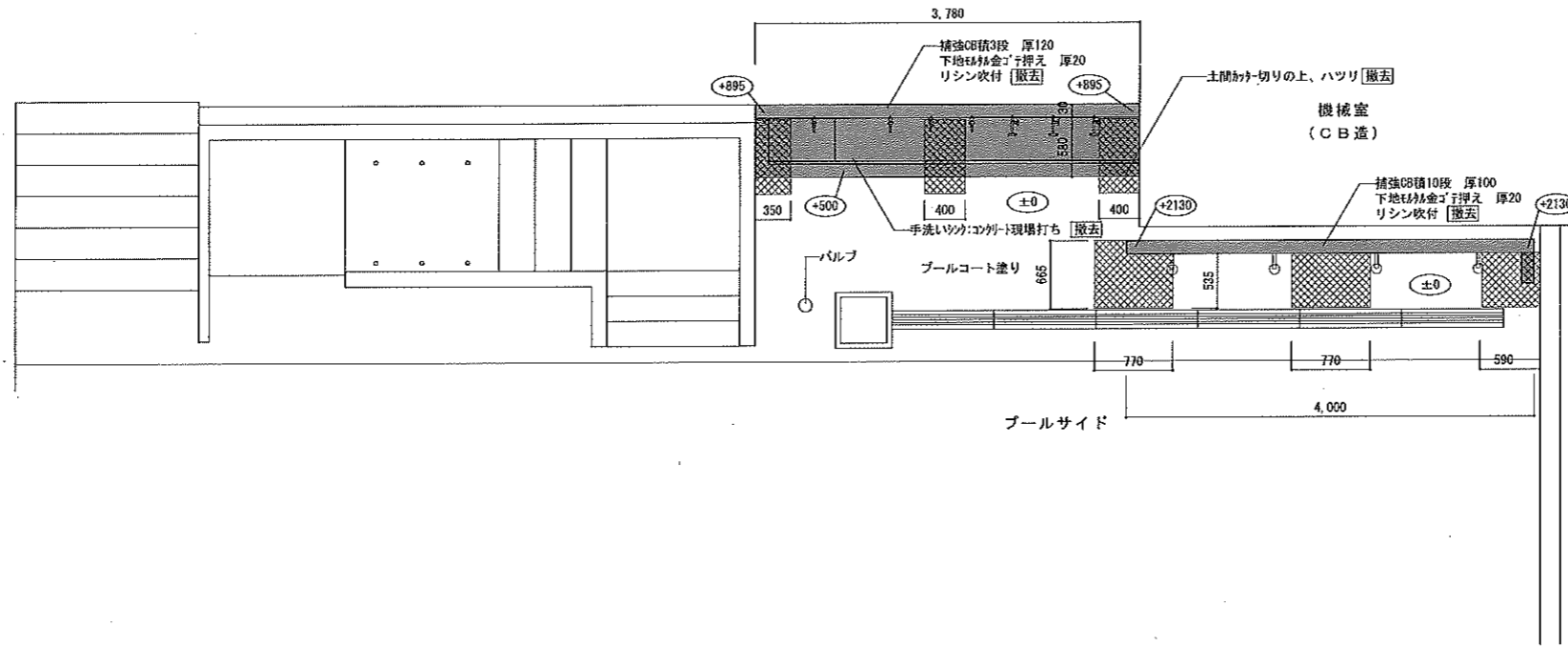


改修手洗・シャワー立面図 1/30

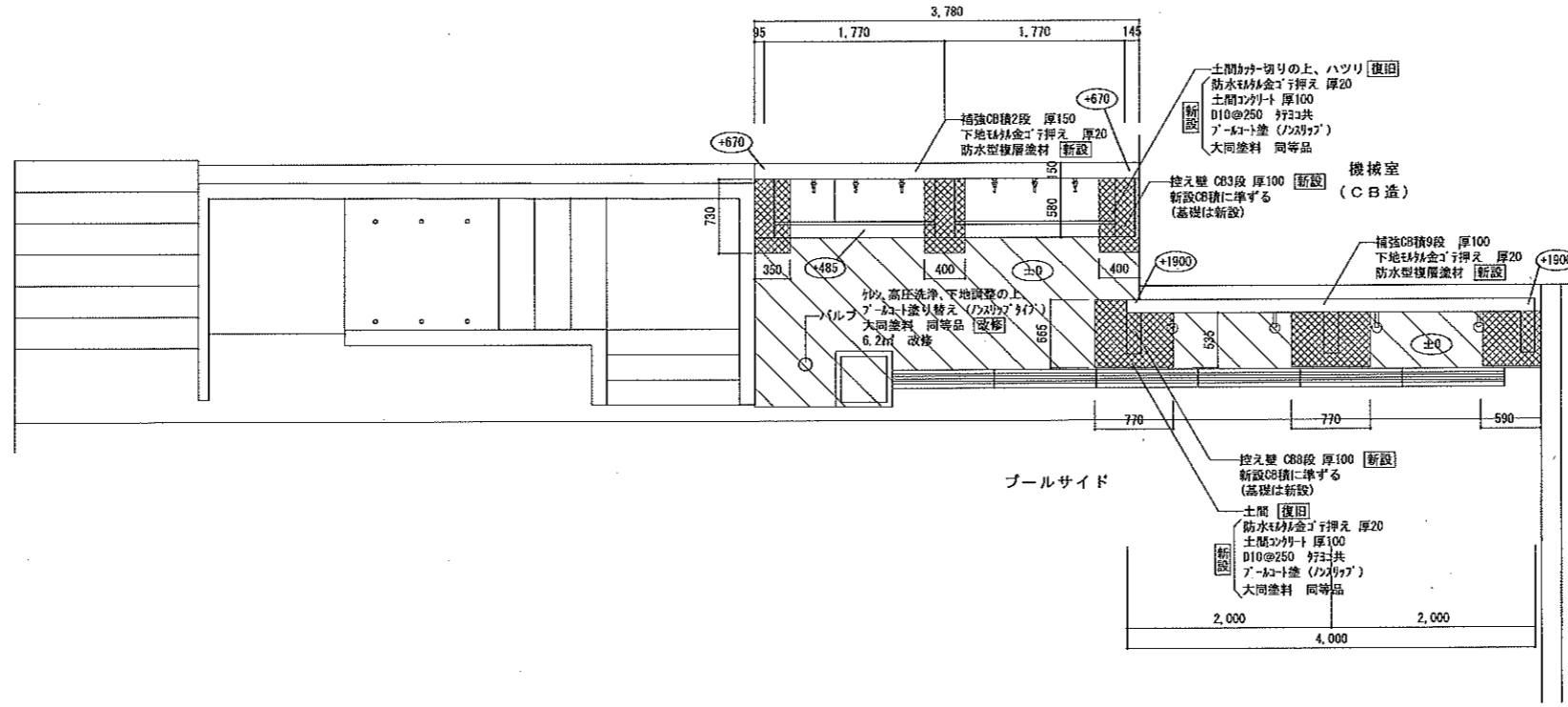
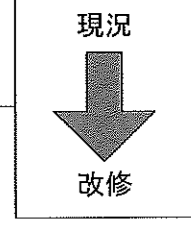
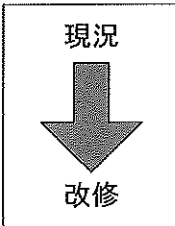


特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			図番	A-06	管理建築士	印									
	図名	(中瀬小学校) 立面図	相尺					1/30 (A2) 1/42 (A3)								
<table border="1"> <tr> <td>承認</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>図面提出日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						承認				図面提出日						
承認																
図面提出日																



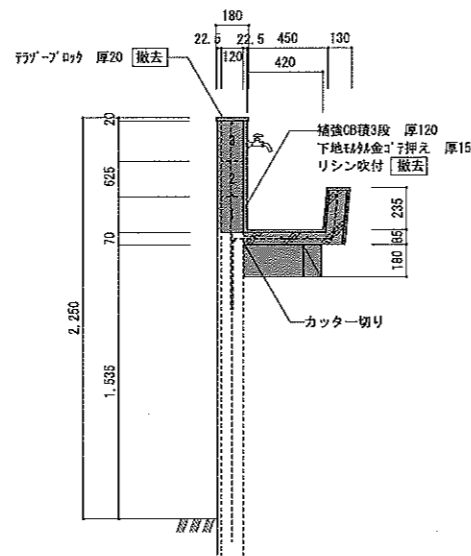


現況手洗・シャワー平面詳細図 1/50

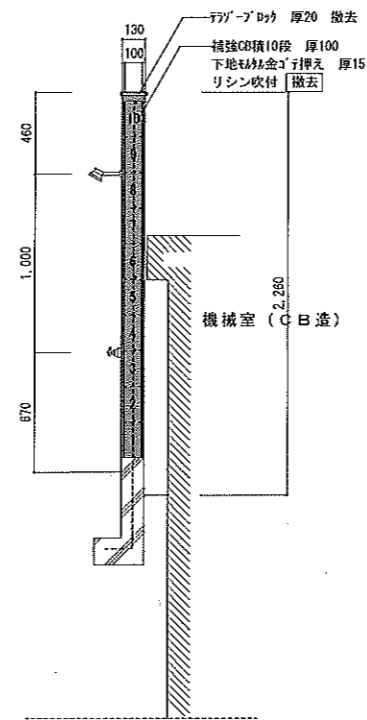


改修手洗・シャワー平面詳細図 1/50

特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名 (中瀬小学校) 平面詳細図	縮尺 1/50 (A2) 1/71 (A3)	図面番号 A-07	図面提出日		



手洗い断面図

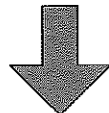


シャワーブロック断面図

< 凡例 >

撤去範囲を示す。

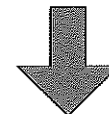
現況



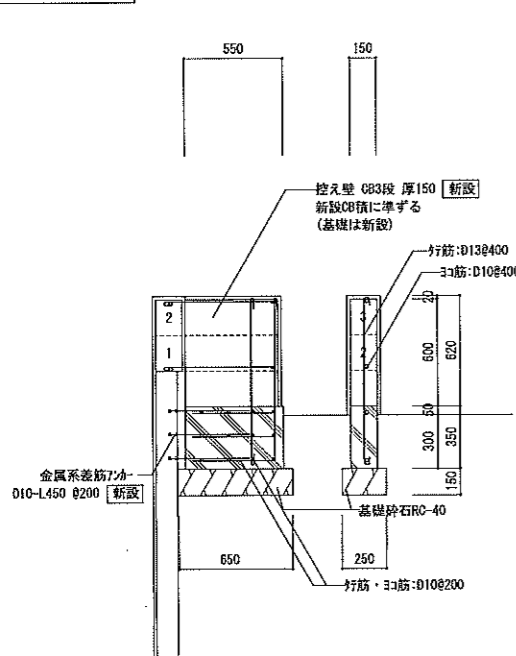
改修

現況手洗・シャワー断面詳細図 1 / 3 0

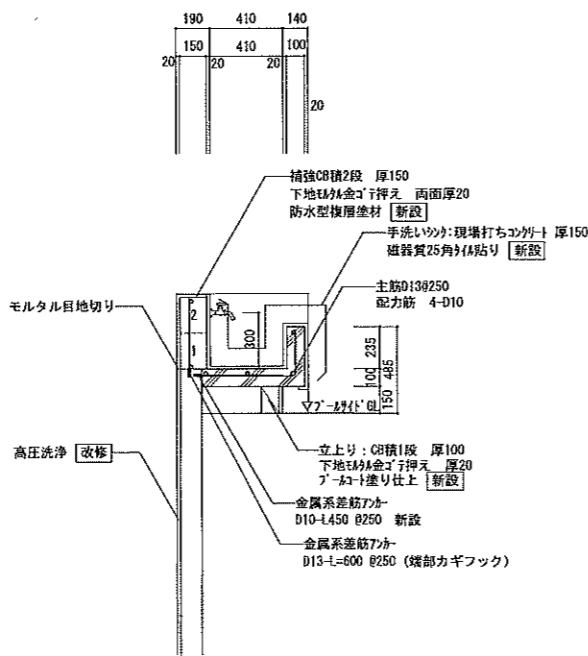
現況



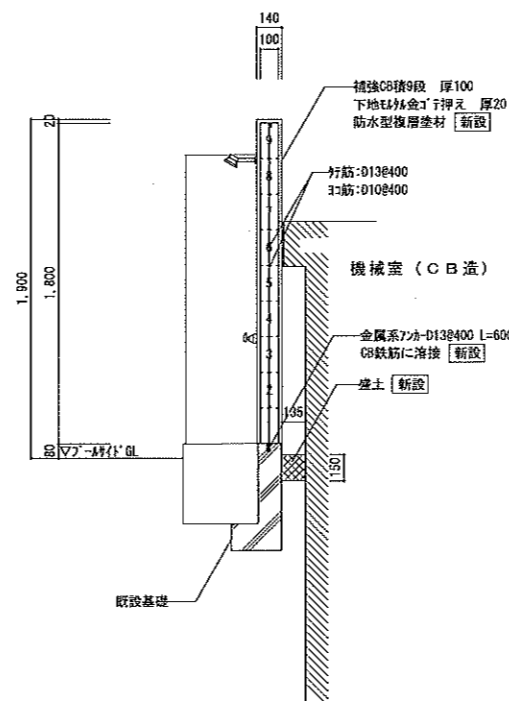
改修



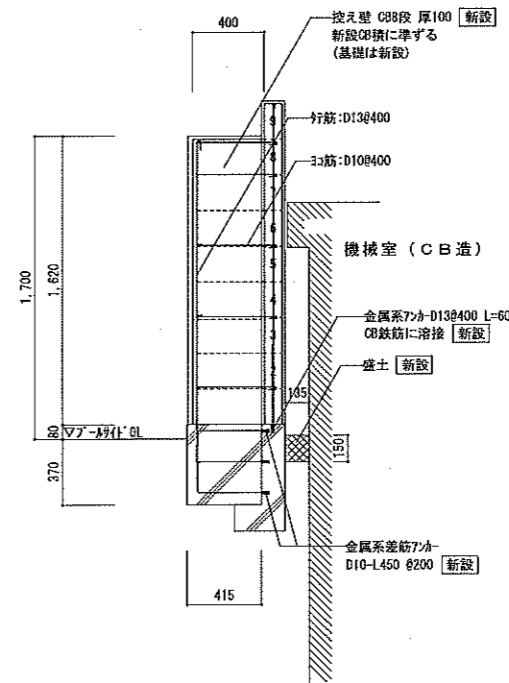
手洗い控え壁断面図



手洗い断面図



シャワーブロック断面図



シャワーブロック控え壁断面図

改修手洗・シャワー断面詳細図 1 / 3 0

特記	ブロック積み基礎差し筋アンカーはブロック内鉄筋に溶接すること	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
		図名 (中瀬小学校) 断面詳細図	枚数 1/30 (A2) 1/42 (A3)	図番 A-08	図面提出日		



図 示 記 号

記 号	名 称
—	給 水 管
—	排 水 管
○	給 水 栓
▽ ⊠ ⊗	弁 類
⊖	床 上 掃 除 口
⊙	排 水 金 物

衛 生 器 具 表

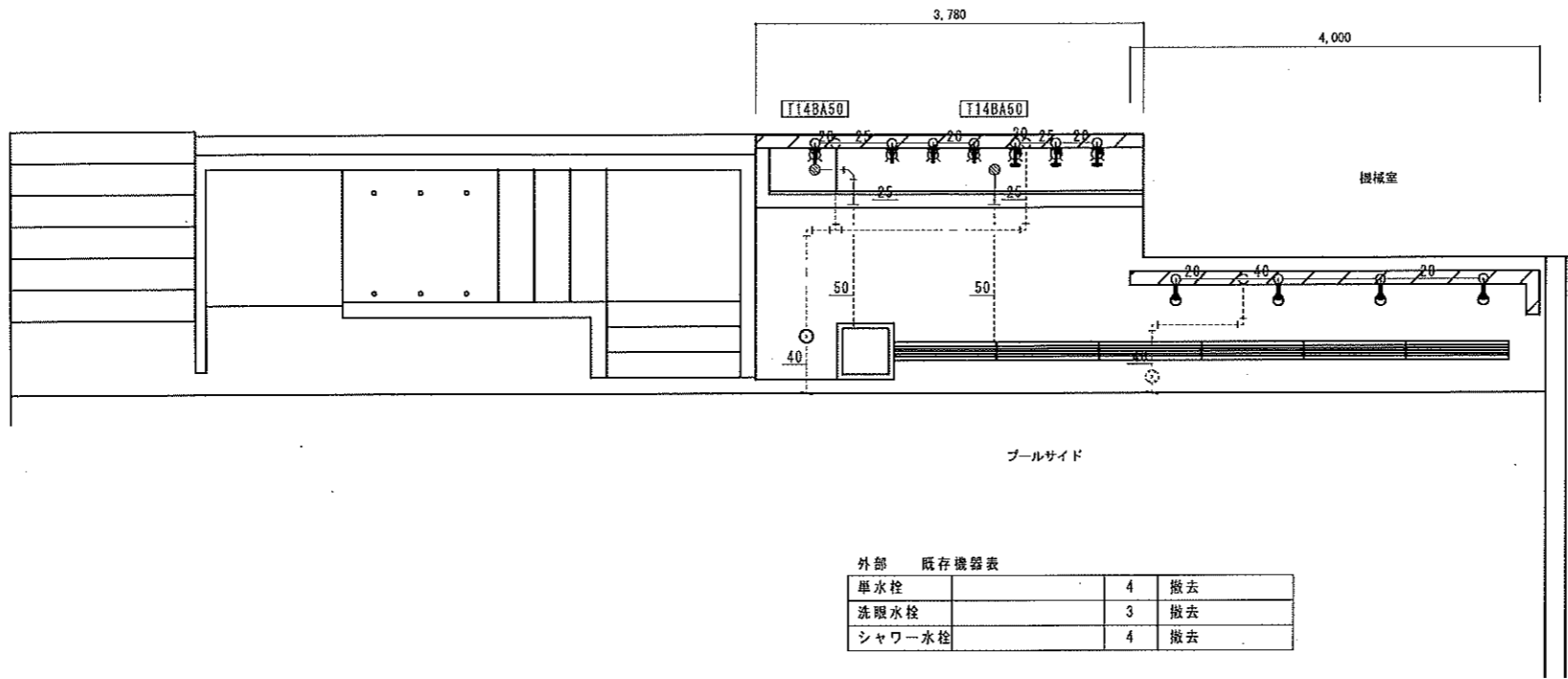
名 称	品 番	附 属 品	外 部	合 計
横水栓	LF-7R-13	吐水口回転形	7	7
固定シャワー	BF-4R	BF-2S-13(埋込形止水栓)	6	6

\*衛生器具型番は参考とし、監督員の指示（器具の調整等）に従うものとする。

特 記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認		管理建築士	印
	図名 (中瀬小学校) 図示記号・衛生器具表			図尺 NS	図面番号 M-02		
				図面提出日			

凡例	
——	今回撤去箇所を示す
-----	既存箇所を示す

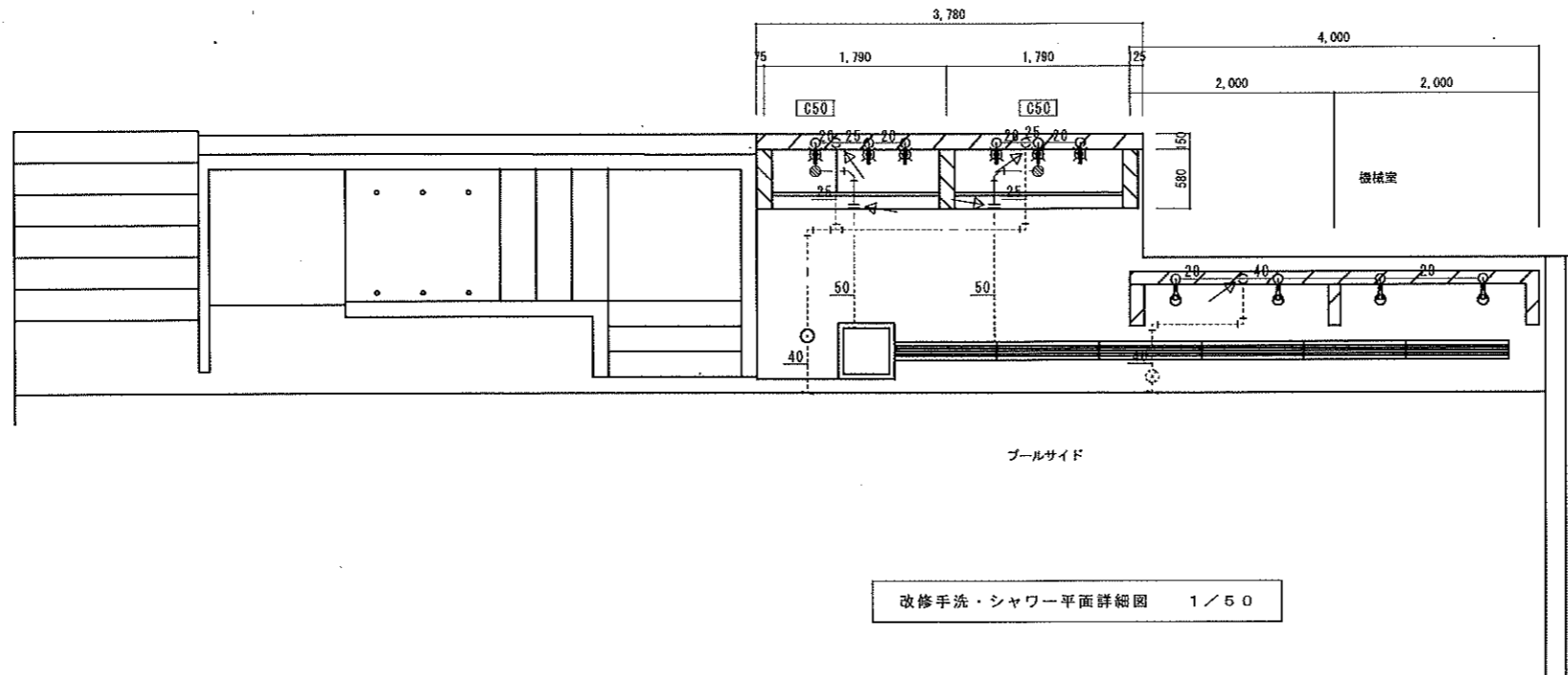
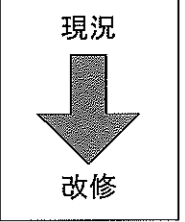
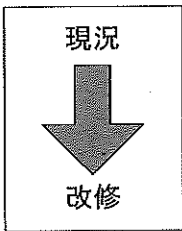
注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。  
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。  
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)  
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。



外部 既存機器表

単水栓	4	撤去
洗面水栓	3	撤去
シャワー水栓	4	撤去

現況手洗・シャワー平面詳細図 1/50



改修手洗・シャワー平面詳細図 1/50

凡例	
——	今回改修箇所を示す
-----	既存箇所を示す
↗	既設接続箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。  
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。

特記	工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事		承認		管理建築士	印
		図名	図尺	図番	図番		
		(中瀬小学校) 平面詳細図 給排水衛生設備	1/50 (A2) 1/71 (A3)	図番番号	M-03		
				図番提出日			

# 府中小学校

## 図面リスト

No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	図面リスト	M-01	特記仕様書
A-01	特記仕様書1	M-02	図示記号・衛生器具表
A-02	特記仕様書2	M-03	平面詳細図① 給排水衛生設備
A-03	特記仕様書3	M-04	平面詳細図② 給排水衛生設備
A-04	配置図兼仮設計画図・付近見取図		
A-05	平面図		
A-06	平面詳細図・立面図①		
A-07	平面詳細図・立面図②		
A-08	断面詳細図		
A-09	テントシェルター・控え壁断面詳細図		

特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認		管理建築士	印
	図名 (府中小学校) 図面リスト	図尺 NS	図面番号 A-00	図面提出日			

工事特記仕様書(改修)

Table with project details: 1. 工事名称 (Project Name), 2. 工事概要 (Project Overview), 3. 工事内容 (Project Content).

- III. 建築改修工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様

Main specification table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes).

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 補修方法 (Repair Method).

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 仮設工事 (Temporary Work).

4 外壁改修工事

1 施工数量調査  
2 改修工法の種類

・ 行う ・ 行わない  
調査範囲 ・ 全面 ・ ( )  
調査項目 ・ ひび割れ部 (幅0.2mm以上) ・ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上)  
・ はがれ及びはく落部分  
・ 浮き部  
調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 ( ・ 尺堀 ・ ゴンドラ)  
報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

外壁	種類	改修工法
・ コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
・ タイル張り仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	目地	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
・ 塗り仕上げ外壁	目地	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	新張り仕上げ	・ 薄付け仕上塗料塗り ・ 厚付け仕上塗料塗り ・ 複層仕上塗料塗り ・ 可とう形改修用仕上塗料塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗料塗り

3 改修工法等

・ 樹脂注入工法  
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法  
(4.2.2)(a)  
(4.3.4)  
(4.4.5)  
(4.5.5)  
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法  
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法  
材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)  
・ 低粘度形 ・ 中粘度形  
コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない  
・ 抜取り箇所 ( )  
・ 抜取り部分補修方法 ( )

・ Uカットシール材充填工法  
(4.2.2)(b)  
(4.3.5)  
(4.4.6)  
(4.5.6)  
材料 ・ シーリング用材充填  
( ・ PU-1 ・ PU-2 ・ ( ) )  
・ 可とう性エポキシ樹脂充填  
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填  
・ 行う ・ 行わない

・ シール工法  
(4.2.2)(c)  
(4.3.6)  
(4.4.7)  
材料 ・ バテ状エポキシ樹脂  
・ 可とう性エポキシ樹脂

・ 充填工法  
(4.2.2)(d)  
(4.3.7)  
(4.4.8)  
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル  
・ ポリマーセメントモルタル

・ モルタル塗替え工法  
(4.2.2)(e)  
(4.4.9)  
材料 ・ 既視目地材の適用及び形状 ( )  
仕上り厚 ( )

・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法  
(4.2.2)(f)  
(4.4.10)  
(図4.4.1)  
アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法  
(4.2.2)(g)  
(4.4.11)  
(図4.4.2)  
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )

(4.2.2)(e)  
(4.4.12)  
(図4.4.2)  
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法  
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )

(4.2.2)(f)  
(4.4.13)  
(図4.4.3)  
・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法  
注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.2.2)(f)  
(4.4.14)  
(図4.4.4)  
・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法  
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.2.2)(f)  
(4.4.15)  
(図4.4.4)  
・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法  
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ポリマーセメントスラリー ( )  
・ 注入口付アンカーピン ( ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( ) )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.2.2)(h)  
(4.5.7)  
・ タイル部分張替え工法  
材料 ・ ポリマーセメントモルタル

・ 変成シリコン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
				I類(磁器)	II類(せつ輝)	III類(陶器)			

・ 役物 ( ・ 一体成形 ・ 接着加工)  
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない  
・ 見本張り ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(h)  
(4.5.8)  
(表4.5.4)  
・ タイル張替え工法

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5~8
		・ 改良種み上げ張り	4~7
・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満	・ 改良種密着張り	下地側 4~6 タイル側 3~4
	・ 小口未満	・ マスク張り	3~4
		・ モザイクタイル貼り	3~5

(4.5.15)  
・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法  
注入口付アンカーピンの本数 ( 本)

(4.2.2)(h)  
(4.5.16)  
・ 目地ひび割れ部改修工法  
・ 伸縮調整目地改修工法  
伸縮調整目地  
(位置 寸法 × )  
検査 シーリング接着性試験  
・ 行う ( ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

4 塗り仕上げ  
(4.2.2)(j)  
(表4.2.4(その1)(その2))

種類	呼び名	仕上り形状	工法
薄付け仕上塗料	・ 外装薄塗料E	・ 砂壁状	吹付け
		・ ゆず肌状	吹付け
厚付け仕上塗料	・ 外装厚塗料C	・ 平たん状	こて
		・ 凹凸状	こて
複層仕上塗料	・ 外装厚塗料S1 ・ 外装厚塗料E	・ ゆず肌状	ローラー
		・ 凹凸状	ローラー
可とう形改修用仕上塗料	・ 可とう形改修塗料E ・ 可とう形改修塗料RE	・ 平たん状	ローラー
		・ さざ波状	吹付け

・ 外装厚塗料Cの上塗料がセメントスタッコ以外の場合  
材所重量 ( kg/m<sup>2</sup>)

(4.7.2)  
(表4.7.1)  
・ マスチック塗料塗り ・ A種 ・ B種  
仕上り塗り ( )

(表4.2.5)

樹脂種類	溶媒種類		外 観	
	溶剤系	水系	艶有	艶無
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ シリカ系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
○ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗料、防水形複層塗料、及び可とう形改修塗料には適用しない。

(4.6.3)

既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・ サンダー工法	
・ 高圧水洗工法	
・ 塗膜はく離剤工法	
・ 水洗工法	
・ デッキブラシ	
○ 高圧ポンプ	

(4.6.4)

下地調整

・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ( )

14

モルタル塗り (6.15.3)

既視目地材 ・ 使用する(形状: )  
床の目地 ・ 図示(図面番号: )

15

タイル張り (6.16.2)(6.16.3)

伸縮調整目地  
位置 ・ 図示(図面番号: )

(表4.2.5)

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
					I類(磁器)	II類(せつ輝)	III類(陶器)			
手洗いシンク	25角									

(6.16.3)(b)(1)

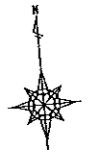
試験張り ・ 行う ・ 行わない  
見本張り ・ 行う ・ 行わない



7 塗装改修工事	1 材料 (7.1.3) (b)	・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )
	2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~(表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えでR/B種の場合) ・ 図示(図面番号: )
	3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~(表7.3.4)	錆止め塗料種別 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	4 合成樹脂適合ペイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~(表7.4.3)	塗料種別 ・ 1種 ・ ( ) 種別 下地 ・ 木部 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	5 クリヤラッカー塗り(C) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 ・ A種 ・ B種
	6 アクリル樹脂系非水分散形塗料(MAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 ・ A種 ・ B種
	7 耐候性塗料塗り(OP) (7.8.2)~(7.8.4) (表7.8.1)~(表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系) 種別 下地 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリート面及び B-1種 ・ B-2種 押出成形セメント板面 C-1種 ・ C-2種
	8 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~(表7.9.4)	種別 下地 コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面 木部(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 鉄鋼面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種
	9 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ・ ( )
	10 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	11 ウレタン樹脂ワニス塗り(U) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種
	12 ラッカーエナメル塗り(LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別 ・ A種 ・ B種
	13 木造保護塗料塗り(OP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別 ・ A種 ・ B種

8の5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事	(あと施工アンカー) 種類 ① あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ① 金属系 セットの方式 ② 本体打込み式(改良型 ③ 従来型) 径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号: ) 引張耐力 ・ 図示(図面番号: ) せん断耐力 ・ 図示(図面番号: ) 接合部の種類・径・長さ ④ 図示(図面番号: ) ・ 接合系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有根系 ・ 無根系 径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号: ) 引張耐力 ・ 図示(図面番号: ) せん断耐力 ・ 図示(図面番号: ) アンカー筋の種類 ・ 図示(図面番号: ) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示(図面番号: ) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない
	② あと施工アンカーの施工 (8.12.2) (8.12.4) (8.12.5) (8.12.5)	穿孔 埋込み配管等の探索の方法 ① 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ ( ) あと施工アンカーの施工確認試験 ④ 実施する ・ 実施しない 確認試験方法 ① 改修標準仕様書(8.12.5)による ・ ( ) 確認強度 ・ ( ) ② ブロック鉄筋と溶接接合すること
	(場所打ちコンクリート壁の増設工事) 3 シアコネクタ	場所打ちコンクリート壁の増設部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接合系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径[mm] ・ D10 長さ[mm] ・ 埋打壁厚-40 ・ ( ) 形込み深さ[mm] ・ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ・ ( ) 間隔[mm] ・ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ( )
9 建築用コンクリートブロック	補強コンクリートブロック 帳壁及び扉	※ 空洞 ブロック16 ・ 空洞 ブロック16-W (8.2.2) ※ 表 8.3.1 及び下表による (8.3.2)
		適用箇所 厚さ(mm) 種別の記号 ① 間仕切壁 地下二重壁 外壁 扉 図示 空洞ブロック 16 ・ 設備配管用ブロック積み 100 空洞ブロック 08
10 鉄筋工事	鉄筋工事	標準仕様は、① 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(社団法人公共建築協会) ② 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 ・ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。 ・ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ 定着長さは設計図書による。 外観検査 ④ 有 ・ 無 引張試験 ・ 有 ④ 無 超音波深傷試験 ・ 有 ④ 無
	⑪ コンクリート工事	(1) コンクリート 標準仕様は、① 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(社団法人公共建築協会) ・ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 ② 耐久設計基準強度F <sub>d</sub> は、短期 ④ 標準 ・ 長期 ・ 超長期 ③ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。 ④ 調査計画は、工事開始前に工事監督者の確認を得ること。必要に応じて試験練を行う。 ⑤ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラー)にて報告する。

① 調査 ※土間コン、捨てコン等mSn補正不要部を除く		
項目	鉄筋コンクリート	無筋コンクリート
設計基準強度 [N/mm <sup>2</sup> ]	24以下	18
単位水量 [kg/m <sup>3</sup> ]	185以下	185以下
単位セメント量 [kg/m <sup>3</sup> ]	270以上	—
水セメント比 [%]	A種: 65以下、B種: 60以下	—
空気量 [%]	4.5	4.5
塩化物量 [kg/m <sup>3</sup> ]	0.3以下	—
捨てコンクリート	FC18N/mm <sup>2</sup> SL-15	
土間コンクリート	FC21N/mm <sup>2</sup> SL-18	
基礎コンクリート	FC24N/mm <sup>2</sup> SL-18	
上部コンクリート	FC24N/mm <sup>2</sup> SL-18	



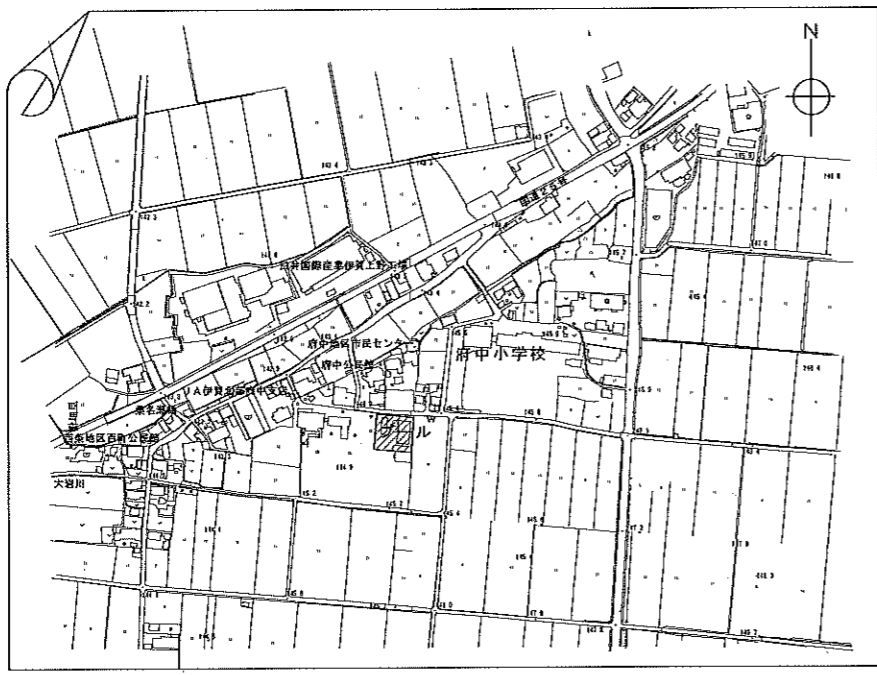
—留意事項—

※1) 進入路が狭いので通行に注意すること。  
 ※2) 仮設計画や作業員の駐車スペースは発注側と協議の上、決定すること。  
 ※3) 交通誘導員を配置している際は、学校入り口から工事エリア入り口まで交通誘導員が工事車両を誘導すること。  
 ※4) 必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。

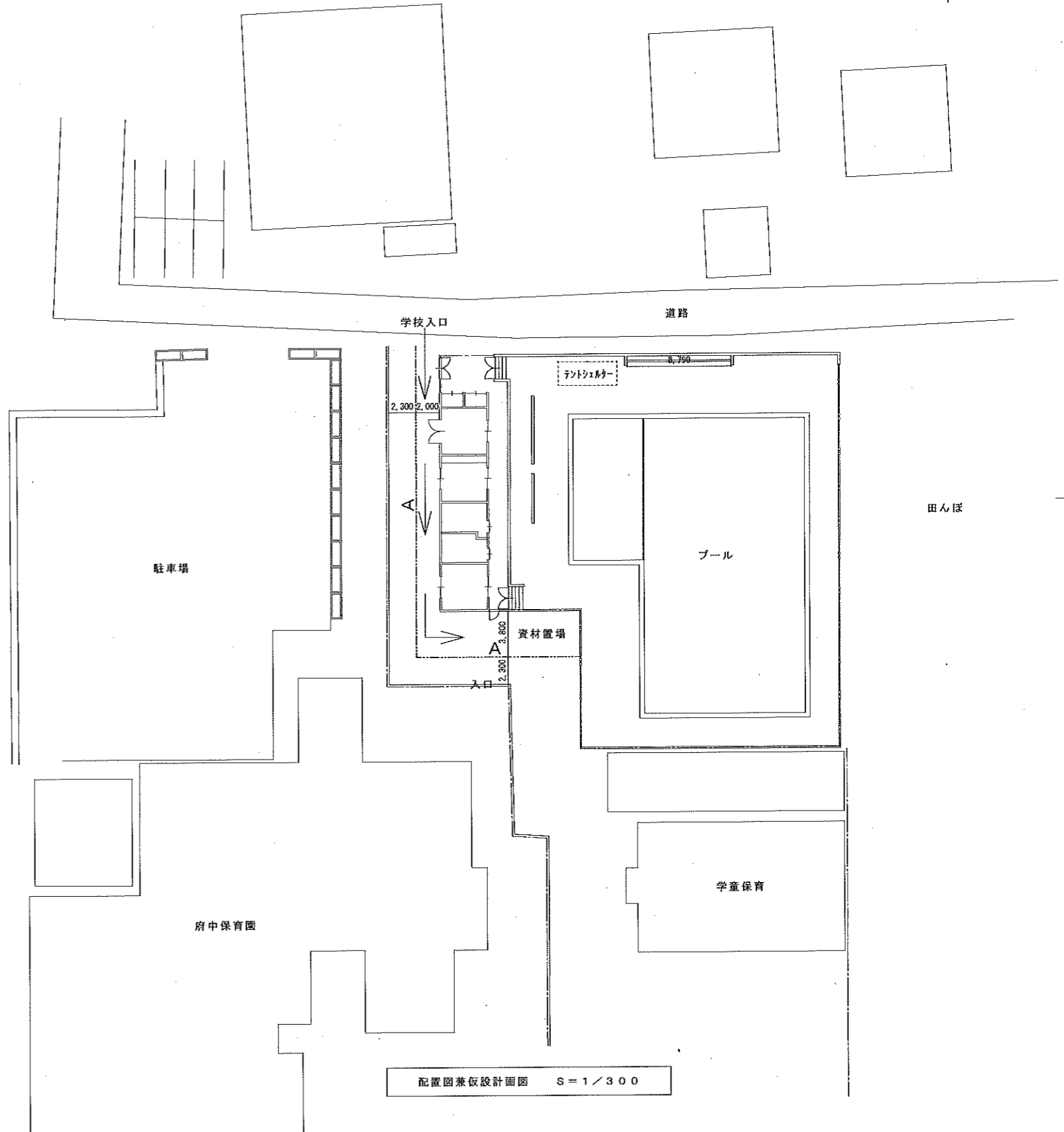
凡例

→ 資材搬入・搬出ルート

A A型バリケード L40.2m H0.8m 34枚



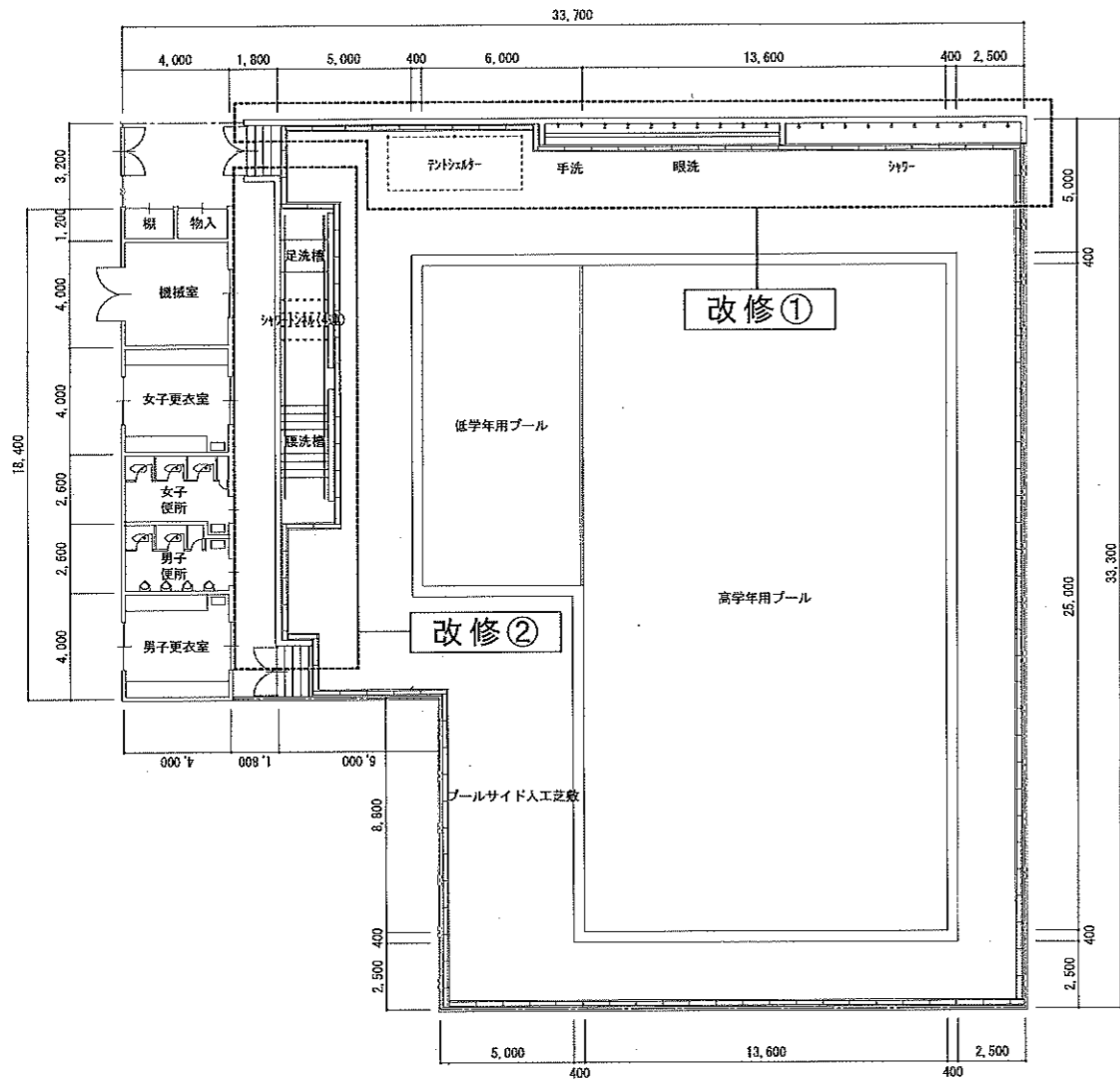
付近見取図



配置図兼仮設計計画図 S=1/300

特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名 (府中小学校) 配置図兼仮設計計画図・付近見取図	縮尺 1/300 (A2) 1/423 (A3)	図面番号 A-04	図面提出日		

現況 → 改修

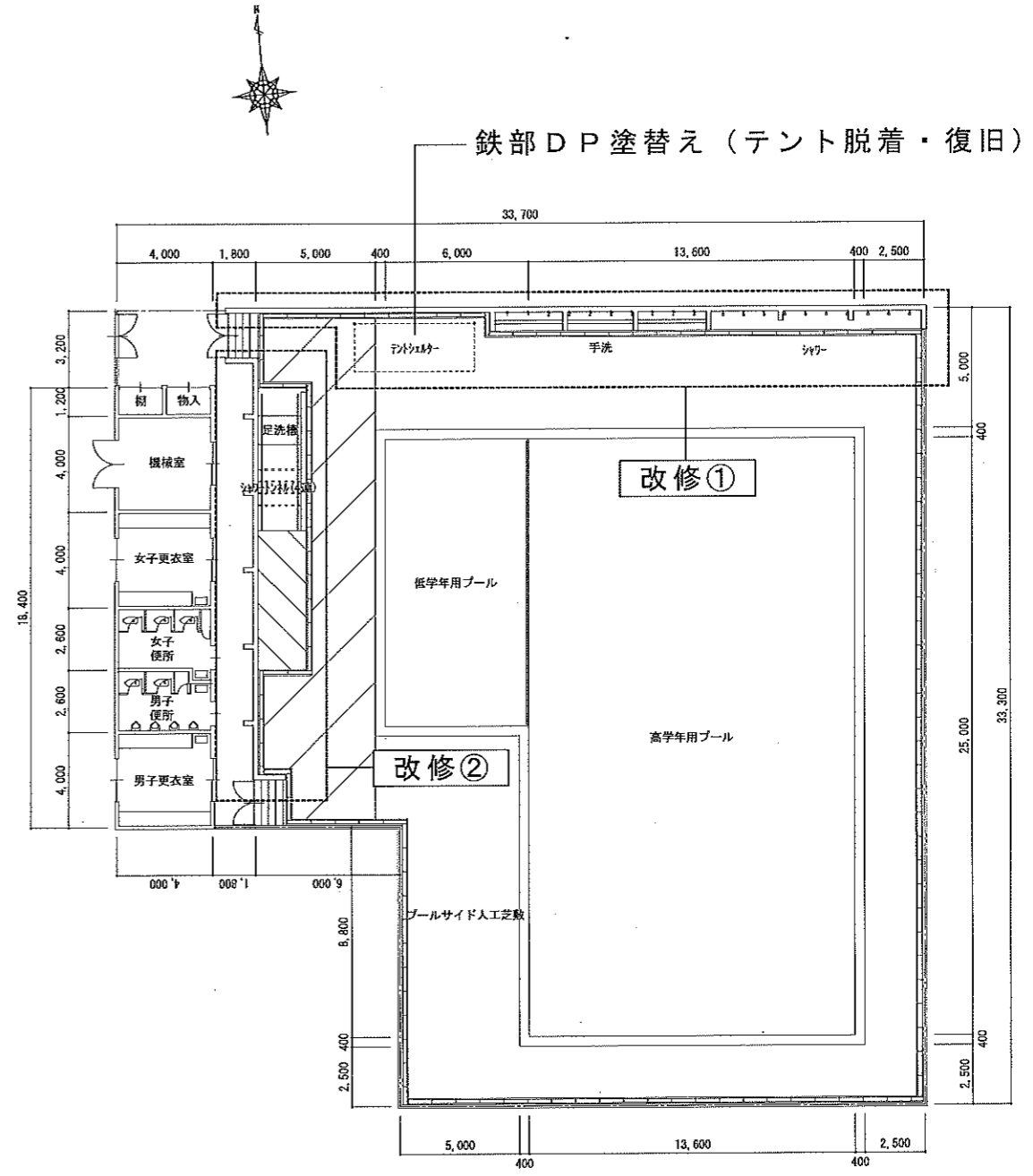


**撤去概要**

- ・改修範囲内の既存ブロック塀の撤去。
- ・シャワー・手洗い・眼洗い・手摺の撤去。
- ・控え壁の新設に伴う土間コンクリートの撤去。

現況平面図 S=1/200

現況 → 改修



<凡例>

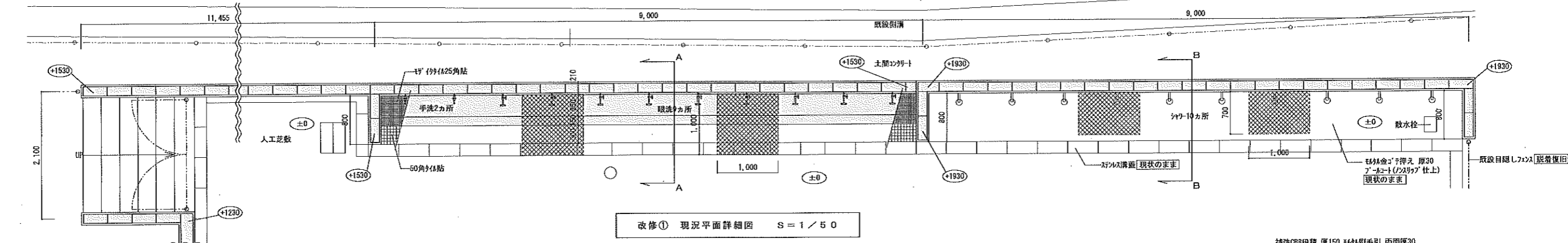
- 人工芝貼替範囲を示す。
- 人工芝貼新設範囲を示す。

**改修概要**

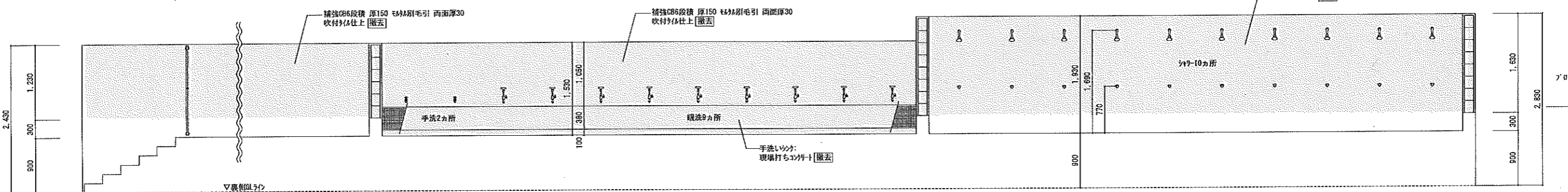
- ・改修範囲内の既存ブロック塀の新設
- ・シャワー・手洗い・手摺の新設。
- ・控え壁の新設と、それに伴う土間コンクリートの復旧。
- ・腰洗い槽の埋め戻し。
- ・テントシェルター塗り替え。

改修平面図 S=1/200

特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士 甲
	図名 (府中小学校) 平面図	縮尺 1/200 (A2) 1/282 (A3)	図面番号 A-05		
				図面提出日	

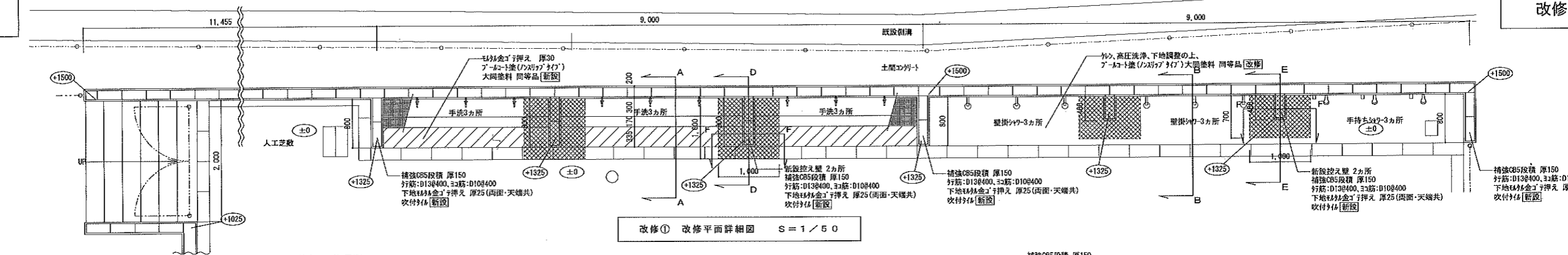
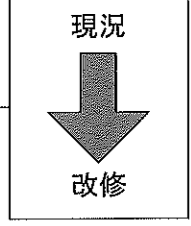
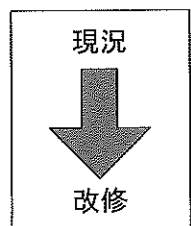


改修① 現況平面詳細図 S=1/50

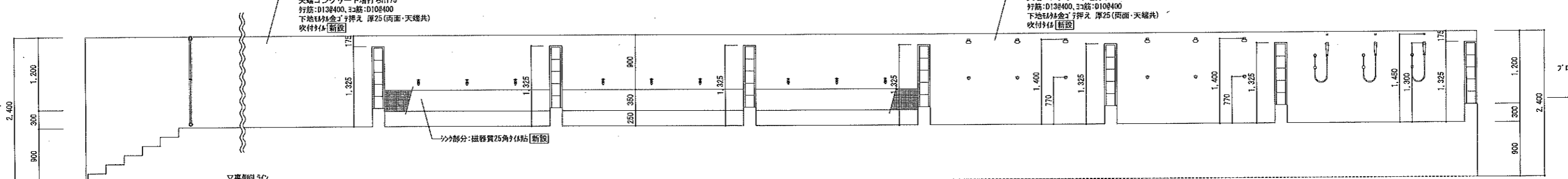


改修① 現況立面図 S=1/50

- < 凡例 >
- 撤去範囲を示す。
  - 土間材一切の上、撤去範囲を示す。  
コンクリート 厚100  
D10@250打・30共  
毛糸 厚30
  - F.L.表記



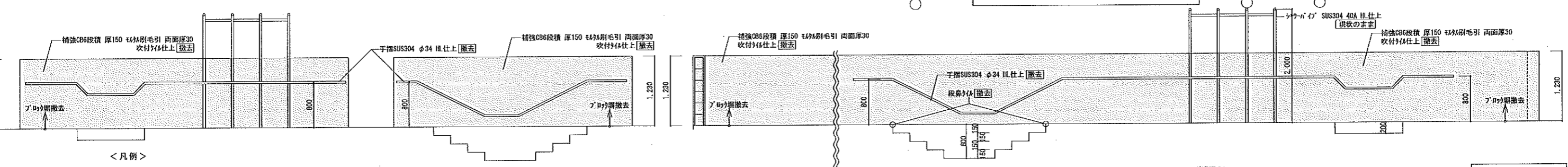
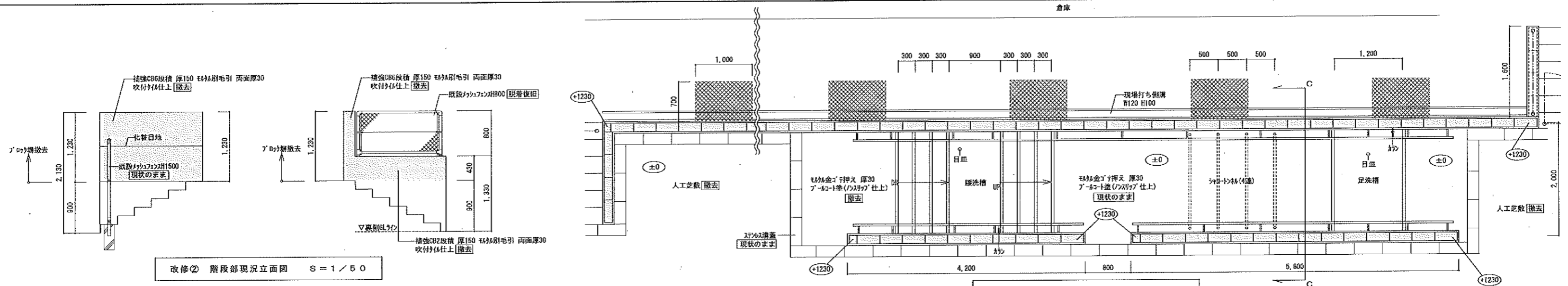
改修① 改修平面詳細図 S=1/50



改修① 改修立面図 S=1/50

- < 凡例 >
- 土間撤去範囲を示す。
  - 毛糸金網 厚30の上、プレキャスト (ノックダウンタイプ) 大同塗料 同等品
  - F.L.表記

特記	工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	甲
	図名	(府中小学校) 平面詳細図・立面図①	縮尺	1/50 (A2) 1/7.1 (A3)	図面番号	A-06	図面提出日



**凡例**

撤去範囲を示す。 (撤去範囲を示す)

土間部分一切の上、撤去範囲を示す。 (撤去範囲を示す)

コンクリート厚100 D10@250打・30共 毛糸厚30

段差撤去を示す。 (撤去範囲を示す)

F.L.表記

**改修**

土間復旧範囲を示す。 (埋戻し範囲を示す)

埋戻し範囲を示す。

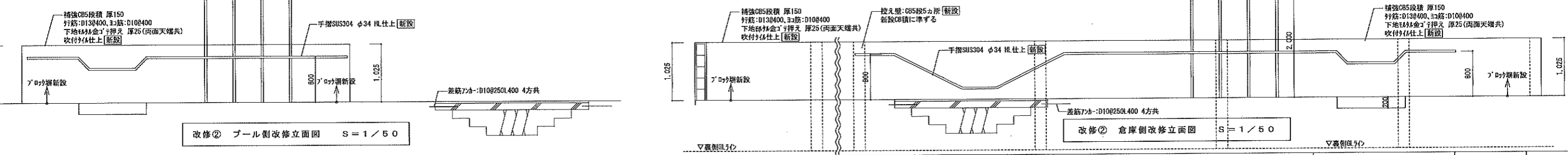
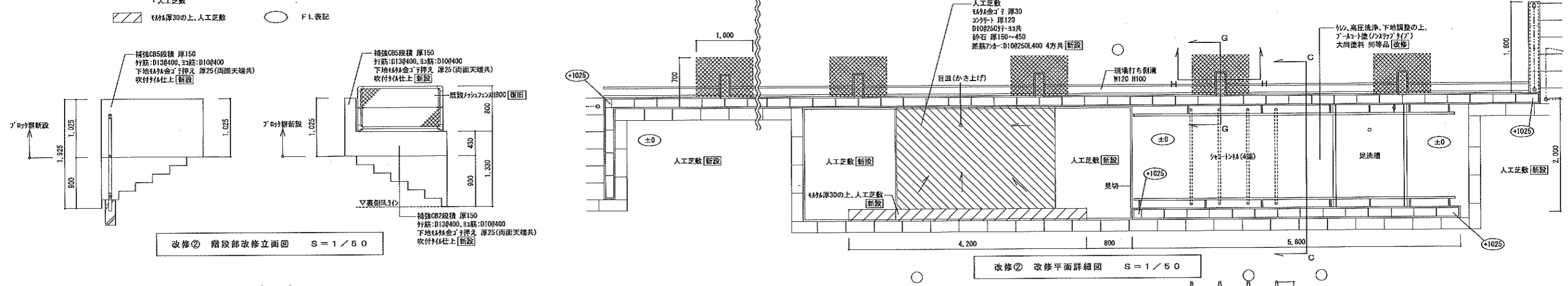
コンクリート厚100 D10@250打・30共 毛糸厚30 人工芝敷

毛糸厚30の上、人工芝敷

F.L.表記

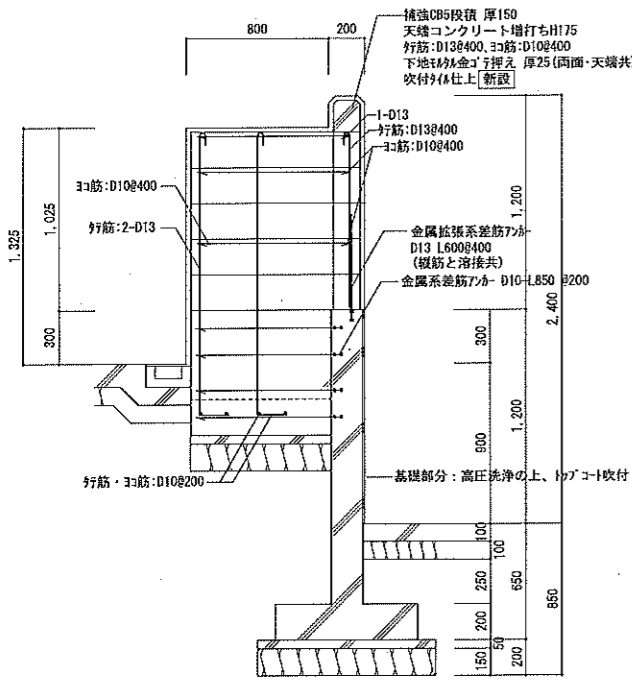
**現況**

**改修**

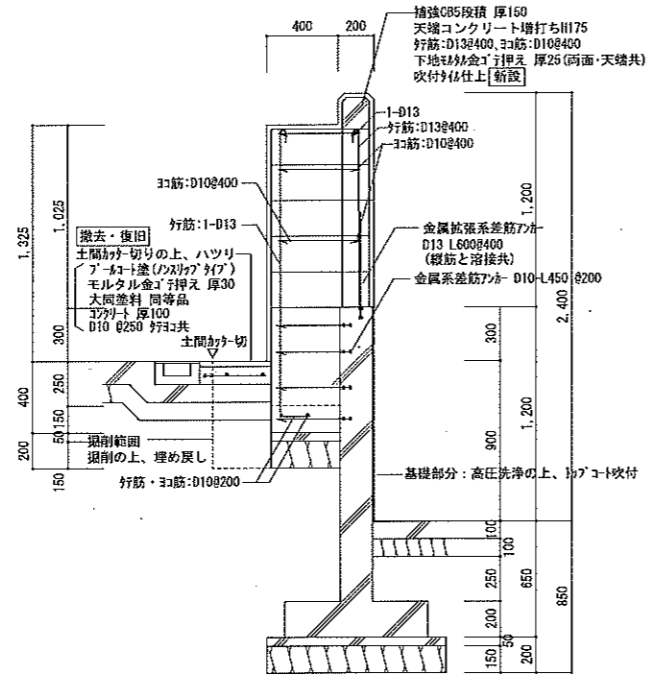


特記	工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	甲
	図名	(府中小学校) 平面詳細図・立面図②	縮尺	1/50 (A2) 1/7.1 (A3)	図面番号	A-07	図面提出日

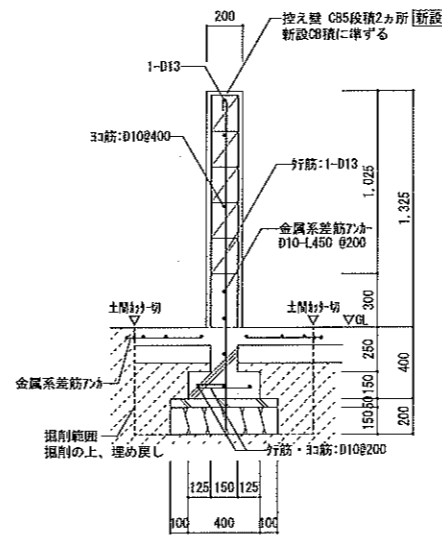




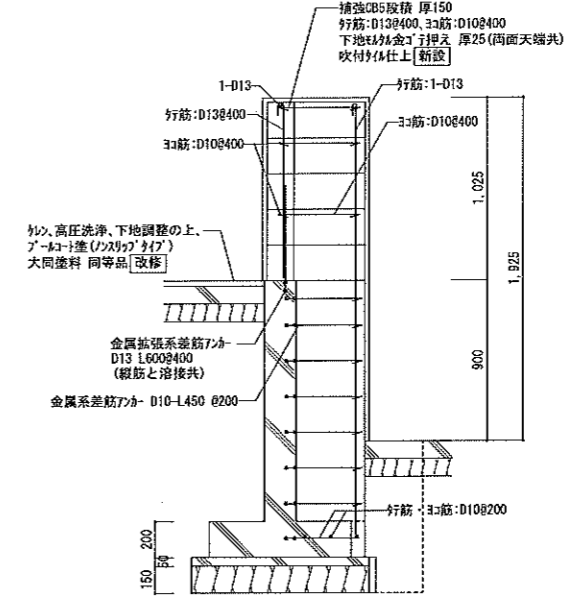
< D断面詳細図 >



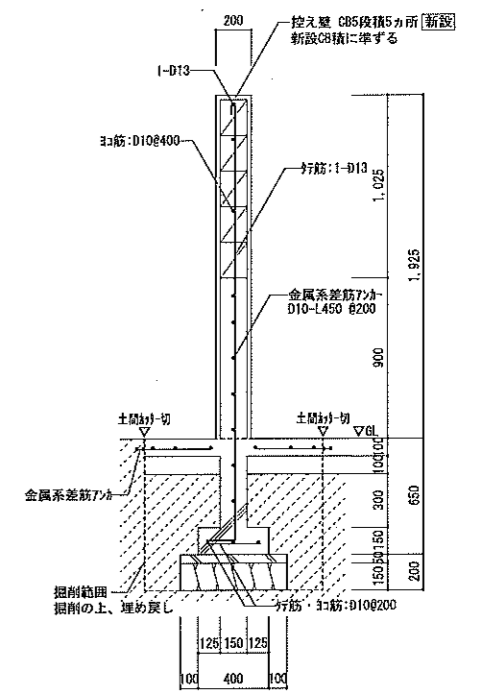
< E断面詳細図 >



< F断面詳細図 >

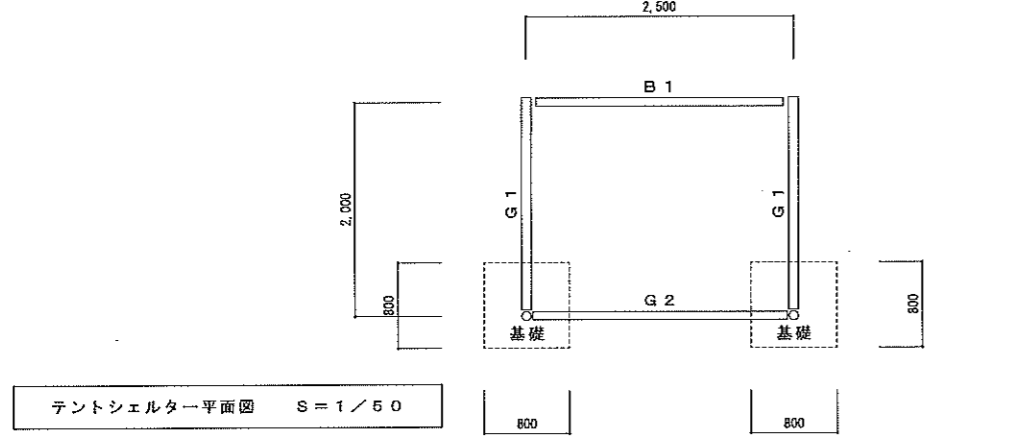


< G断面詳細図 >

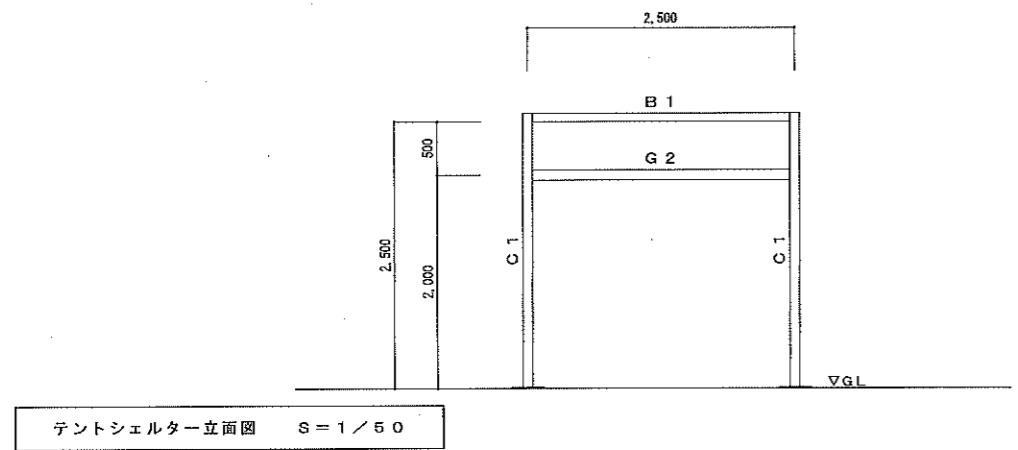


< H断面詳細図 >

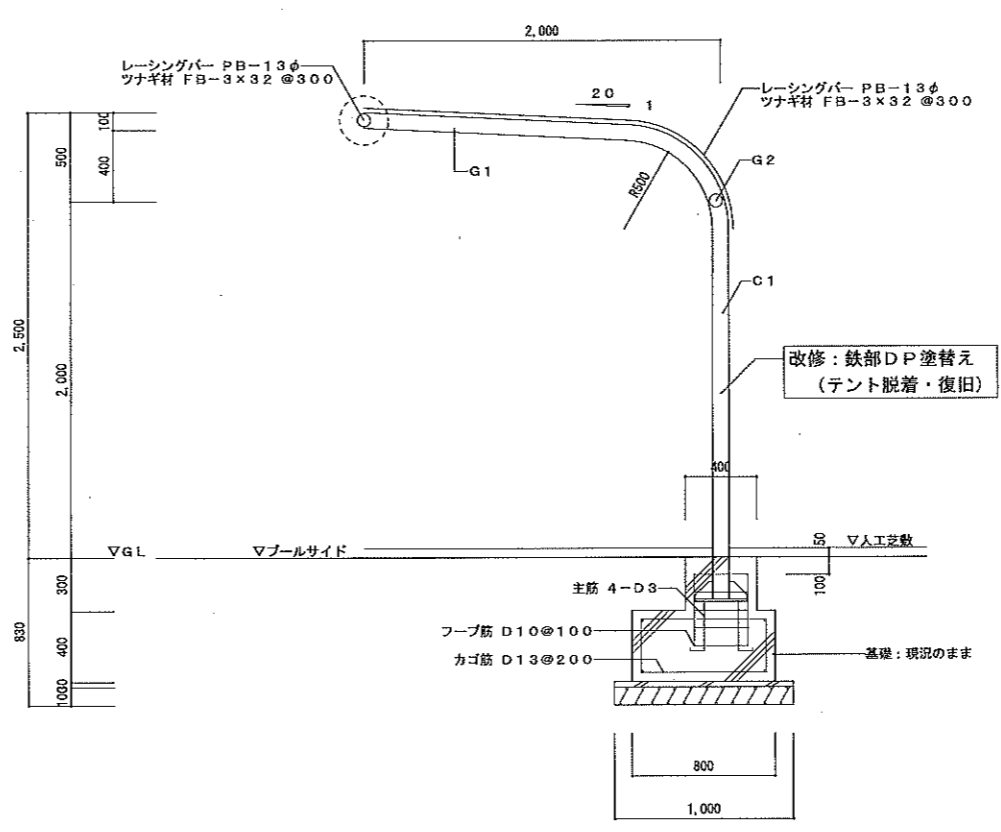
新設控え壁詳細図 S = 1 / 30



テントシェルター平面図 S = 1 / 50



テントシェルター立面図 S = 1 / 50



テントシェルター断面詳細図 S = 1 / 30

メンバーリスト	
C1	P-89.1φ × 1.2 t
G1	P-89.1φ × 4.2 t
G2	P-76.3φ × 4.2 t
B1	P-76.3φ × 4.2 t
膜材料	C種 スカイマックス





図示記号

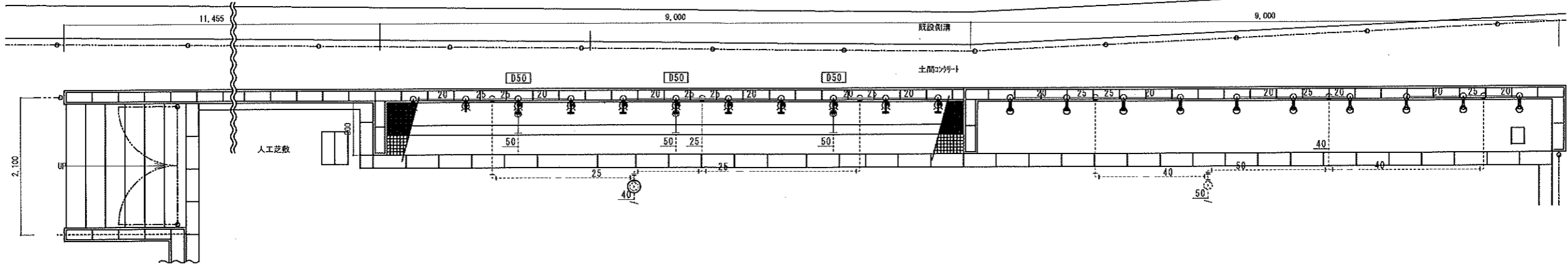
記号	名称
— — — — —	給水管
— — — — —	排水管
○	給水栓
⊗ ⊘ ⊙	弁類
⊖	床上掃除口
⊗	排水金物

衛生器具表

名称	品番	附属品	外部	合計
横水栓	LF-7R-13	吐水口回転形	10	10
固定シャワー	BF-4R	BF-2S-13(埋込形止水栓)	9	9

\*衛生器具型番は参考とし、監督員の指示（器具の調整等）に従うものとする。

特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認 管理建築士 印
	図名 (府中小学校) 図示記号・衛生器具表	図尺 NS	図面番号 M-02	
	図面提出日			



外部 既存機器表

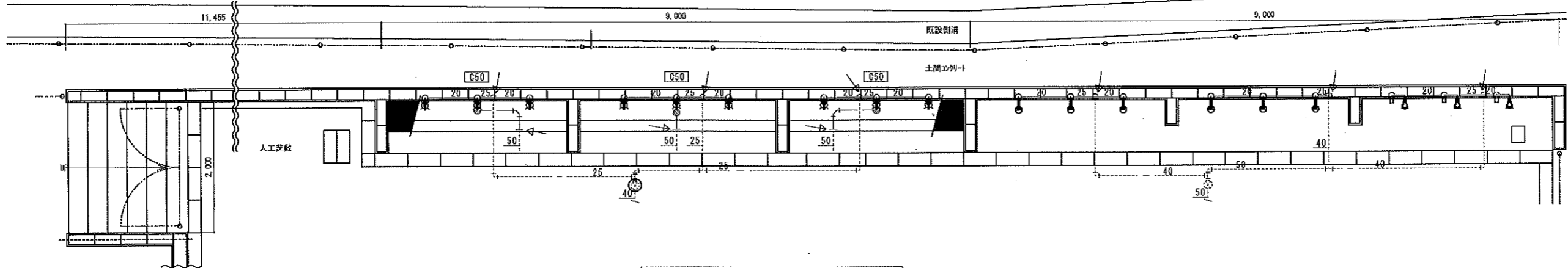
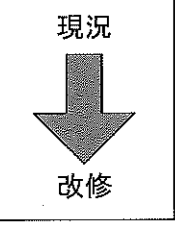
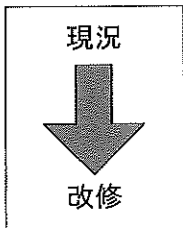
単水栓	2	撤去
洗眼水栓	9	撤去
シャワー水栓	10	撤去

改修① 現況平面詳細図 S = 1 / 50

凡例

	今回撤去箇所を示す
	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。  
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。  
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)  
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。



改修① 改修平面詳細図 S = 1 / 50

凡例

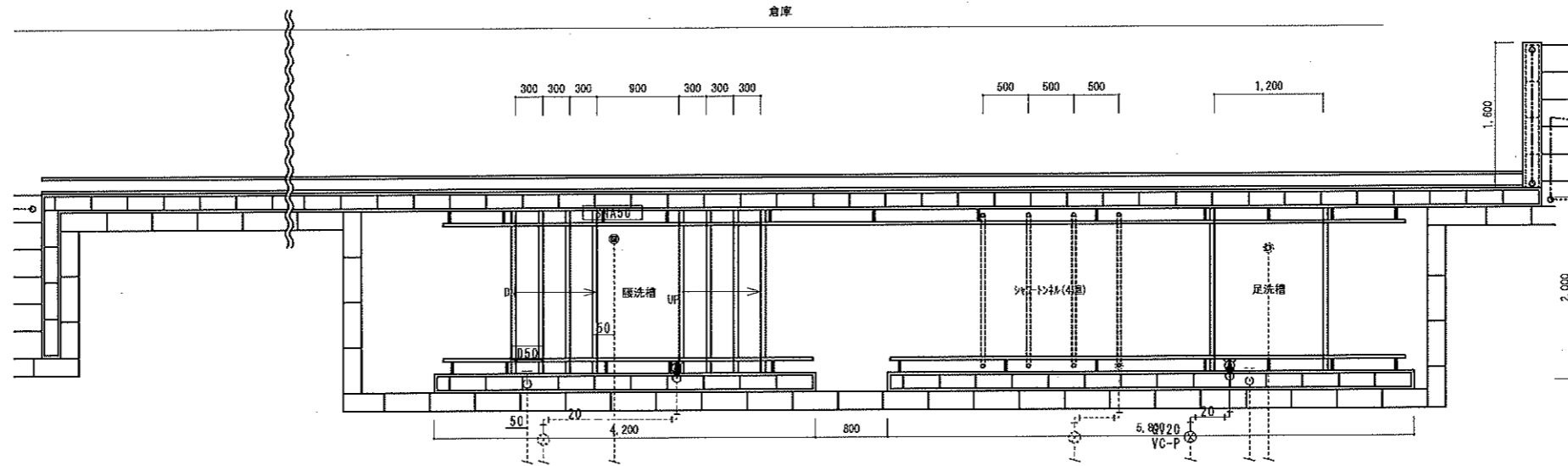
	今回改修箇所を示す
	既存箇所を示す
	既設接続箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。  
 土間及びブロック復旧は建築工事とする。

特記	工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事		承認	管理建築士	印
	図名	(府中小学校) 平面詳細図① 給排水衛生設備	縮尺 1/50 (A2) 1/71 (A3)	図面番号	M-03	図面提出日

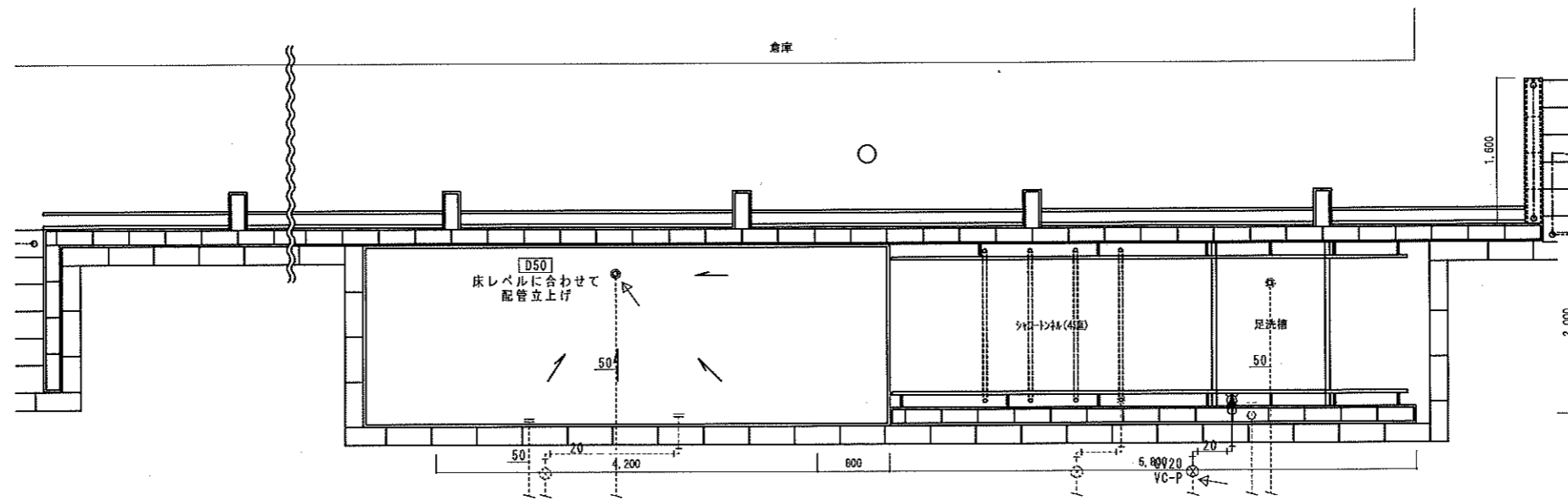
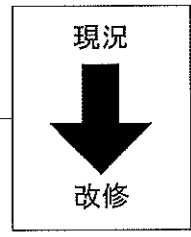
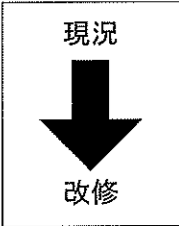
凡例	今回撤去箇所を示す
	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。  
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。  
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)  
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。



洗場	既存機器表
単水柱	2 撤去

改修② 現況平面詳細図 S = 1 / 50



改修② 改修平面詳細図 S = 1 / 50

凡例	今回改修箇所を示す
	既存箇所を示す
	既設接続箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。  
 土間及びブロック復旧は建築工事とする。

特記	工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	(府中小学校) 平面詳細図② 給排水衛生設備	縮尺	1/50 (A2) 1/71 (A3)			
					図面提出日		

# 三訪小学校

## 図面リスト

No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	図面リスト	M-01	特記仕様書
A-01	特記仕様書1	M-02	図示記号・衛生器具表
A-02	特記仕様書2	M-03	平面詳細図 給排水衛生設備
A-03	特記仕様書3		
A-04	配置図兼仮設計画図・付近見取図		
A-05	平面図		
A-06	平面詳細図・立面図		
A-07	断面詳細図		

特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認		管理建築士	印
	図名 (三訪小学校) 図面リスト	縮尺 NS	図面番号 A-00	図面提出日			

工事特記仕様書(改修)

Table with project details: 1. 工事名称 (中瀬小学校他2校プール施設改修工事), 2. 工事概要 (三訪小学校), 3. 工事場所 (三重県伊賀市三田1652), 4. 敷地面積 (㎡), 5. 工事内容 (プール等コンクリートブロック舗装, 構造, 建築面積, 延べ面積, 工事項目)

- III. 建築改修工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の( )内表示番号は改修仕様の該当項目を示す。

Main specification table with columns: 項目, 特記事項. Includes sections for ① 適用基準, ② 施工条件, ③ 部分引渡し, ④ 埋蔵文化財調査, ⑤ 発生材の処理, ⑥ 建設副産物情報交換システムの利用, ⑦ 三重県産業廃棄物税, ⑧ 電気保安技術者, ⑨ 技能士, ⑩ 施工数量調査.

Table with columns: 項目, 仕様. Includes sections for 1.1 調査のための破壊部分の補修, 1.2 建築材料等, 1.3 化学物質の濃度測定, 1.4 特別な材料の工法, 1.5 騒音・振動の防止, 1.6 工事写真, 1.7 完成図等, 1.8 完成写真, 1.9 電子納品, 2.1 既存部分等への処置, 2.2 事故の発生時, 2.3 市内企業優先使用, 2.4 総合評価方式, 2.5 不当介入を受けた場合の措置, 2.6 消防関係の手続き, 2.7 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間.

Table with columns: 項目, 仕様. Includes sections for 2.8 工事の一時中止, 2.9 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重, 2.10 その他(仮設工期), ② 仮設工事 (1) 足場, (2) 既存部分の養生, (3) 仮設間仕切り, (4) 監督員事務所, (6) 仮設便所, (7) 工事用水, (8) 工事用電力, (9) 交通誘導要員.

④ 外壁改修工事

- 1 施工数量調査
- 2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)
- 3 改修工法等 (4.2.2)(a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5) (4.2.2)(b) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6) (4.2.2)(c) (4.3.6) (4.4.7) (4.2.2)(d) (4.3.7) (4.4.8) (4.2.2)(e) (4.4.9) (4.2.2)(f) (4.4.10) (4.4.11) (4.4.12) (4.2.2)(g) (4.4.13) (4.4.14) (4.2.2)(h) (4.5.7) (4.2.2)(i) (4.5.8) (4.5.9) (4.2.2)(j) (4.5.10) (4.5.11) (4.2.2)(k) (4.5.12) (4.2.2)(l) (4.5.13) (4.2.2)(m) (4.5.14) (4.2.2)(n) (4.5.15) (4.2.2)(o) (4.5.16) (4.2.2)(p) (4.5.17) (4.2.2)(q) (4.5.18) (4.2.2)(r) (4.5.19) (4.2.2)(s) (4.5.20) (4.2.2)(t) (4.5.21) (4.2.2)(u) (4.5.22) (4.2.2)(v) (4.5.23) (4.2.2)(w) (4.5.24) (4.2.2)(x) (4.5.25) (4.2.2)(y) (4.5.26) (4.2.2)(z) (4.5.27)

外壁	種類	改修工法
コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法
	欠損部	充填工法
モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法
	欠損部	充填工法 モルタル塗替え工法
	浮き部	アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法
タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法
	欠損部	タイル部分張替え工法 タイル張替え工法
	浮き部	アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 エポキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法
	目地	目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法
塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 覆層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り マステック塗材塗り

④ 改修工法等

(4.2.2)(a) 樹脂注入工法  
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法  
(4.3.4) 注入量 ( ) 注入間隔 ( )  
(4.4.5) ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法  
注入量 ( ) 注入間隔 ( )  
(4.5.5) ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法  
注入量 ( ) 注入間隔 ( )  
材料 エポキシ樹脂 JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂)  
低粘度形 中粘度形  
コア採取検査 ・ 行う ・ 行わない  
・ 抜き取り箇所 ( )  
・ 抜き取り部分補修方法 ( )

(4.2.2)(b) Uカットシール材充填工法  
(4.3.5) 材料 ・ シーリング用材充填  
(4.4.6) ( ・ PU-1 ・ PU-2 ( ) )  
(4.5.6) ・ 可とう性エポキシ樹脂充填  
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填  
・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(c) シール工法  
(4.3.6) 材料 ・ バテ状エポキシ樹脂  
(4.4.7) ・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2)(d) 充填工法  
(4.3.7) 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル  
(4.4.8) ・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(e) モルタル塗替え工法  
(4.4.9) 材料 ・ 既製目地材の適用及び形状 ( )  
仕上げ厚 ( )

(4.2.2)(f) アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法  
(4.4.10) アンカーピンの本数 ・ 標準 ( )  
(4.4.11) 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ( )

(4.2.2)(g) アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法  
(4.4.12) アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ( )  
(4.4.13) 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ( )

(4.2.2)(h) タイル部分張替え工法  
(4.5.7) 材料 ・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(i) 変成シリコン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
				I類(繊維)	II類(せつ器)	III類(陶器)			

・ 役物 ( ・ 一体成形 ・ 接着加工 )  
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない  
・ 見本張り ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(j) タイル張替え工法  
(4.5.8) タイルの種類

外装	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
・ 改良積み上げ張り	小口以上二丁掛け以下	・ 改良瓦着張り	4~7
・ 改良瓦着張り	・ マスク張り	・ 下地側	4~6
・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満	・ モザイクタイル貼り	3~4
	・ 小口未満		3~5

(4.2.2)(k) 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法  
(4.5.9) 注入口付アンカーピンの本数 ( ) 本

(4.2.2)(l) 目地ひび割れ部改修工法  
(4.5.10) 伸縮目地改修工法  
伸縮目地  
(位置 寸法 小学校プール等コンクリートブロック塀改修工事 (中瀬小学校他2校))  
検査 シーリング接着性試験  
・ 行う ( ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 )

④ 塗り仕上げ (4.2.2)(j) (表4.2.4(その1) (その2))

種類	呼び名	仕上げ形状	工法
薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け
		・ 平たん状	こて
厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	・ 凹凸状	こて
		・ 伸ず肌状	ローラー
		・ さざ波状	吹付け
		・ 着色骨材砂壁状	こて
原付仕上塗材	外装厚塗材C	・ 吹放し	吹付け
		・ 凸部処理	こて
		・ 平たん状	こて
		・ 凹凸状	ローラー
覆層仕上塗材	外装厚塗材SI 外装厚塗材E	・ 吹放し	吹付け
		・ 凸部処理	こて
		・ 平たん状	ローラー
		・ 凹凸状	ローラー
可とう形改修用仕上塗材	可とう形改修塗材E 可とう形改修塗材RE 可とう形改修塗材OE	・ 砂壁状	ローラー
		・ 平たん状	ローラー
		・ さざ波状	吹付け
		・ 伸ず肌状	吹付け

(4.2.2)(p) 外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合  
材料所要量 ( kg/m<sup>2</sup> )

(4.2.2)(q) マステック塗材塗り ・ A種 ・ B種  
(表4.7.1) 仕上材塗り ( )

(表4.2.5)

樹脂種類	溶媒種類		外 観	
	溶剤系	水系	艶有	艶無
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ シリカ系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形覆層塗材、防水形覆層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(4.6.3)

工法	処理範囲
・ サンダー工法	
・ 高圧水洗工法	
・ 塩酸はく離工法	
・ 水洗工法	
・ デッキブラシ	
・ 高圧ポンプ	

(4.6.4)

下地調整  
・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ( )

④ モルタル塗り (6.15.3)

既製目地材 ・ 使用する (形状: )  
床の目地 ・ 図示 (図面番号: )

④ タイル張り (6.16.2) (6.16.3)

伸縮目地  
位置 ・ 図示 (図面番号: )

(6.16.3)(b)(1)

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
					I類(繊維)	II類(せつ器)	III類(陶器)			
手洗いシンク	25角				○			○		○

試験張り ・ 行う ・ 行わない  
見本張り ・ 行う ・ 行わない

7 塗装改修工事

1 材料 (7.1.3) (b)	・ 室内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )																																								
2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~(表7.2.7)	<p>既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてR/B種の場合) ・ 図示 (図面番号: )</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プaster面</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ せっこうボード、その他ボード面</td> <td>・ RA種</td> <td>・ RB種</td> <td>・ RC種</td> <td></td> </tr> </table>	種別	下地	種別	種別	ひび割れ部の補修	・ 木部	・ RA種	・ RB種	・ RC種		・ 鉄鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種		・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種		・ モルタル、プaster面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う	・ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	
種別	下地	種別	種別	ひび割れ部の補修																																					
・ 木部	・ RA種	・ RB種	・ RC種																																						
・ 鉄鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種																																						
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種	・ RB種	・ RC種																																						
・ モルタル、プaster面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う																																					
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う																																					
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種	・ RB種	・ RC種	・ 行う																																					
・ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種	・ RB種	・ RC種																																						
3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~(表7.3.4)	<p>錆止め塗料種別 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p>																																								
4 合成樹脂適合ペイント塗り (SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~(表7.4.3)	<p>塗料種別 ・ 1種 ・ ( )</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種 ・ C種</td> </tr> </table>	種別	下地	種別	・ 木部	・ A種	・ B種 ・ C種	・ 鉄鋼面	・ A種	・ B種 ・ C種	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種 ・ C種																												
種別	下地	種別																																							
・ 木部	・ A種	・ B種 ・ C種																																							
・ 鉄鋼面	・ A種	・ B種 ・ C種																																							
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種 ・ C種																																							
5 クリヤラッカー塗り (CL) (7.5.2) (表7.5.1)	<p>種別 木部 ・ A種 ・ B種</p>																																								
6 アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	<p>種別 ・ A種 ・ B種</p>																																								
7 耐水性塗料塗り (DP) (7.8.2)~(7.8.4) (表7.8.1)~(表7.8.3)	<p>上塗り等級 ・ 1級 (フッ素系) ・ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (ポリウレタン系)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種</td> <td>・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び 押出成形セメント板面</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種</td> <td></td> </tr> </table>	種別	下地	種別	鉄鋼面	・ A種	・ B種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種 ・ C種	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種																													
種別	下地	種別																																							
鉄鋼面	・ A種	・ B種 ・ C種																																							
亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種 ・ C種																																							
コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種																																								
8 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-B) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~(表7.9.4)	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>しみ止め ( )</td> </tr> <tr> <td>木部 (屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (屋内)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> </table>	種別	下地	種別	コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種	しみ止め ( )	木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種		鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種		亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種																										
種別	下地	種別																																							
コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種	しみ止め ( )																																							
木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種																																								
鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種																																								
亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種																																								
9 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)	<p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>しみ止め ( )</p>																																								
10 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)	<p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p>																																								
11 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) (7.12.2) (表7.12.1)	<p>種別 ・ A種 ・ B種</p>																																								
12 ラッカーエナメル塗り (LE) (7.13.2) (表7.13.1)	<p>種別 ・ A種 ・ B種</p>																																								
13 木造保護塗料塗り (PP) (7.15.2) (表7.15.1)	<p>種別 ・ A種 ・ B種</p>																																								

8の5

耐震改修工事

あと施工アンカー工事

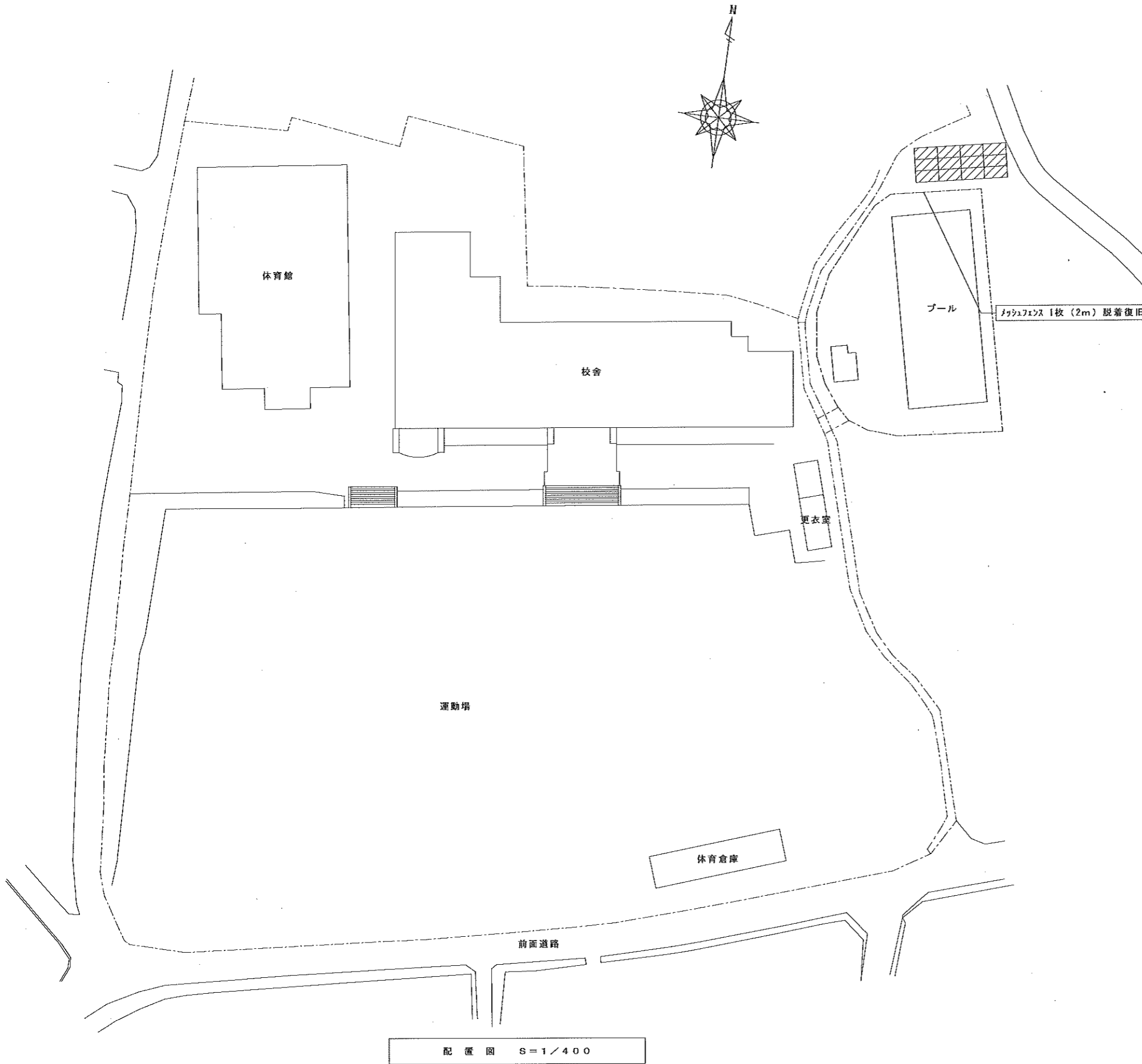
(あと施工アンカー) ① あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	<p>種類 ○ 金属系 セットの方式 ○ 本体打込み式 ( ・ 改良型 ○ 従来型 ) 径及び埋込み深さ ・ 図示 (図面番号: ) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号: ) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号: ) 接合筋の種類・径・長さ ○ 図示 (図面番号: )</p> <p>・ 接合系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み深さ ・ 図示 (図面番号: ) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号: ) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号: ) アンカー筋の種類 ・ 図示 (図面番号: ) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない ○ 補強鉄筋と溶接接合する。 穿孔 埋込み配管等の探査の方法 ○ 鉄筋探知機 (金属探知機) により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ ( )</p> <p>あと施工アンカーの施工確認試験 ○ 実施する ・ 実施しない 確認試験方法 ○ 改修標準仕様書 (8.12.5) による ・ ( )</p> <p>確認強度 ・ ( )</p> <p>○ ブロック鉄筋と溶接接合すること</p>									
(場所打ちコンクリート壁の増設工事) ② あと施工アンカーの施工 (8.12.2) (8.12.4) (8.12.5) (8.12.5)	<p>場所打ちコンクリート壁の増設部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形鉄筋アンカー ・ 接合系あと施工アンカーの異形鉄筋アンカー</p> <p>径 [mm] ・ D10 長さ [mm] ・ 増打壁厚 - 40 ・ ( ) 埋込み深さ [mm] ・ 5d (d: シアコネクタの径) 以上 ・ ( ) 間隔 [mm] ・ 500 × 500</p> <p>シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ( )</p>									
⑨ 建築用コンクリートブロック	<p>補強コンクリートブロック 帳壁及び扉</p> <p>※ 空洞 ブロック16 ・ 空洞 ブロック16-W (8.2.2) ※ 表 8.3.1 及び下表による (8.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>種別の記号</th> </tr> <tr> <td>○ 間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀</td> <td>図示</td> <td>空洞ブロック 16</td> </tr> <tr> <td>・ 設備配管用ブロック積み</td> <td>100</td> <td>空洞ブロック 08</td> </tr> </table>	適用箇所	厚さ (mm)	種別の記号	○ 間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	図示	空洞ブロック 16	・ 設備配管用ブロック積み	100	空洞ブロック 08
適用箇所	厚さ (mm)	種別の記号								
○ 間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	図示	空洞ブロック 16								
・ 設備配管用ブロック積み	100	空洞ブロック 08								
⑩ 鉄筋工事	<p>標準仕様は、○ 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) (社団法人公共建築協会) ○ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 ・ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。</p> <p>・ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ 定着長さは設計図書による。</p> <p>外観検査 ○ 有 ・ 無 引張試験 ・ 有 ○ 無 超音波深傷試験 ・ 有 ○ 無</p>									
⑪ コンクリート工事	<p>(1) コンクリート 標準仕様は、○ 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) (社団法人公共建築協会) ・ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5</p> <p>○ 耐久設計基準強度 Fd は、短期 ○ 標準 ・ 長期 ・ 超長期 ○ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。 ○ 調査計画は、工事開始前に工事監督者の確認を得ること。必要に応じて試験練を行う。 ○ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) にて報告する。</p>									

⑩ 調査



※土間コン、捨てコン等mS n補正不要部を除く

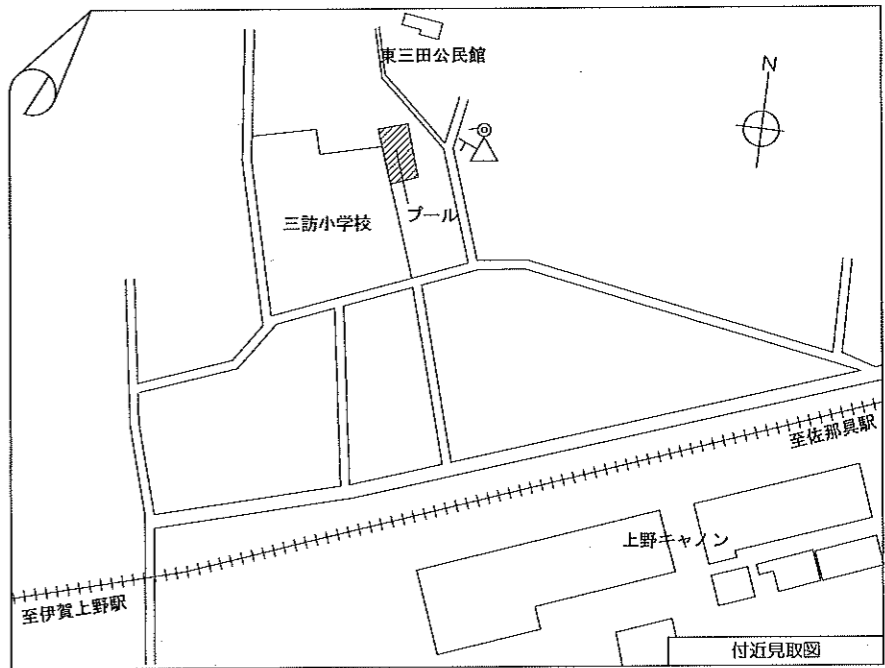
項目	鉄筋コンクリート	無筋コンクリート
設計基準強度 [N/mm <sup>2</sup> ]	24以下	18
単位水量 [kg/m <sup>3</sup> ]	185以下	185以下
単位セメント量 [kg/m <sup>3</sup> ]	270以上	—
水セメント比 [%]	A種: 65以下、B種: 60以下	—
空気量 [%]	4.5	4.5
塩化物量 [kg/m <sup>3</sup> ]	0.3以下	—

捨てコンクリート	FC18N/mm <sup>2</sup>	SL-15
土間コンクリート	FC21N/mm <sup>2</sup>	SL-18
基礎コンクリート	FC24N/mm <sup>2</sup>	SL-18
上部コンクリート	FC24N/mm <sup>2</sup>	SL-18



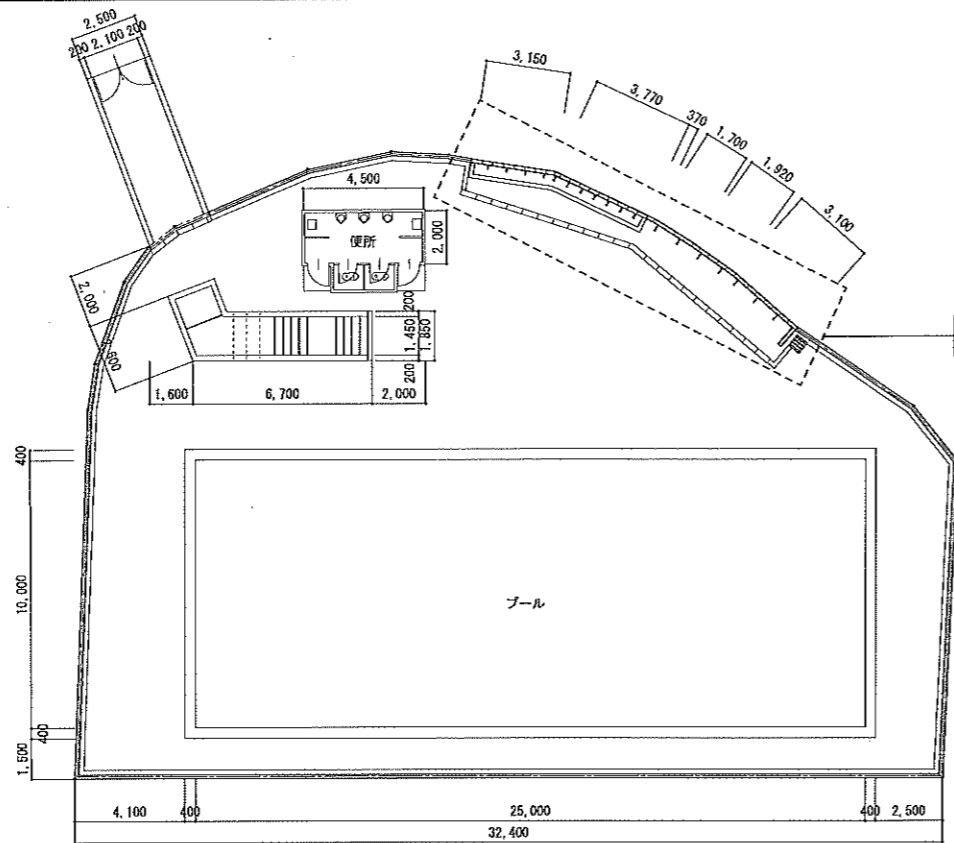
- 留意事項—
- ※1) 進入路が狭いので通行に注意すること。
  - ※2) 仮設計画や作業員の駐車スペースは学校側と協議の上、決定すること。
  - ※3) 交通誘導員を配置している際は、学校入り口から工事エリア入り口まで交通誘導員が工事車両を誘導すること。
  - ※4) 必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。

- 凡例
-  敷鉄板範囲を示す。 t=22 1.524\*3.048 (12枚)
  -  交通誘導員立位置を示す。(延べ2人工程度)  
※資材・仮設材・撤去材搬出入時には交通誘導員を配置すること。

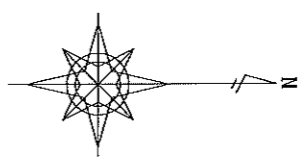


特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			管理建設士 甲
	図名 (三訪小学校) 配置図 兼 仮設計画図・付近見取図	縮尺 1/400 (A2) 1/564 (A3)	図面番号 A-04	
図面提出日				





改修範囲



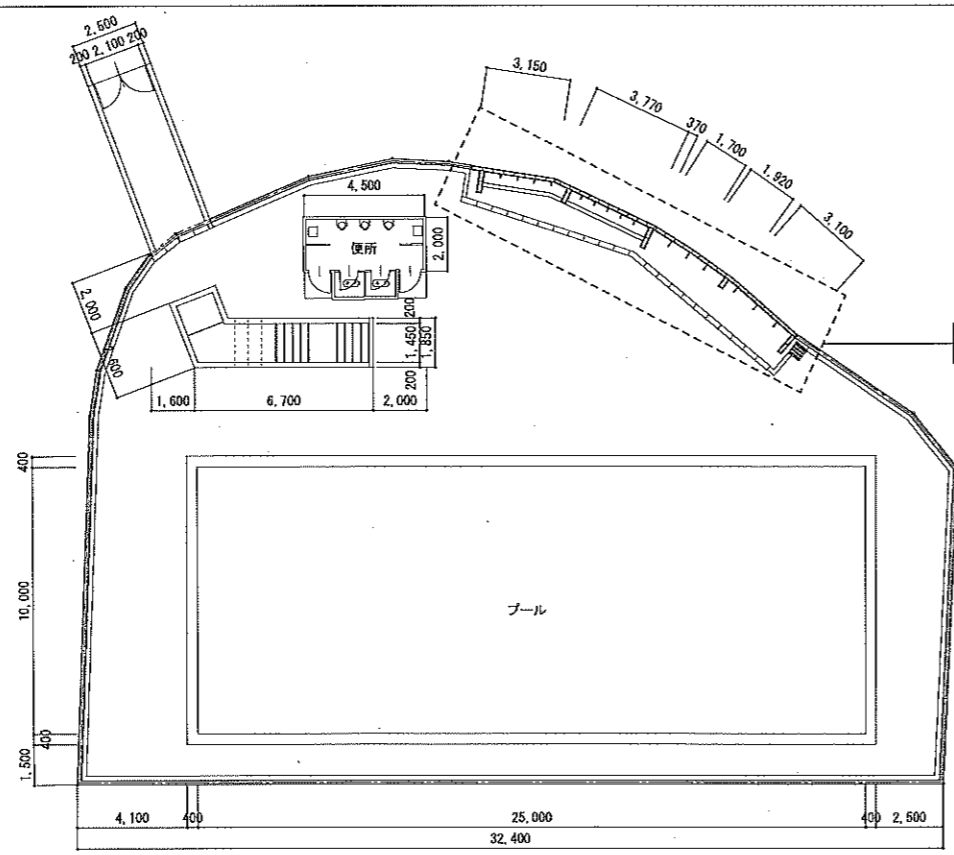
**撤去概要**

- ・改修範囲内の既存ブロック塀の撤去。
- ・シャワー・手洗い・眼洗いの撤去。
- ・控え壁の新設に伴う土間コンクリートの撤去。

現況平面図 1/200

現況  
↓  
改修

現況  
↓  
改修



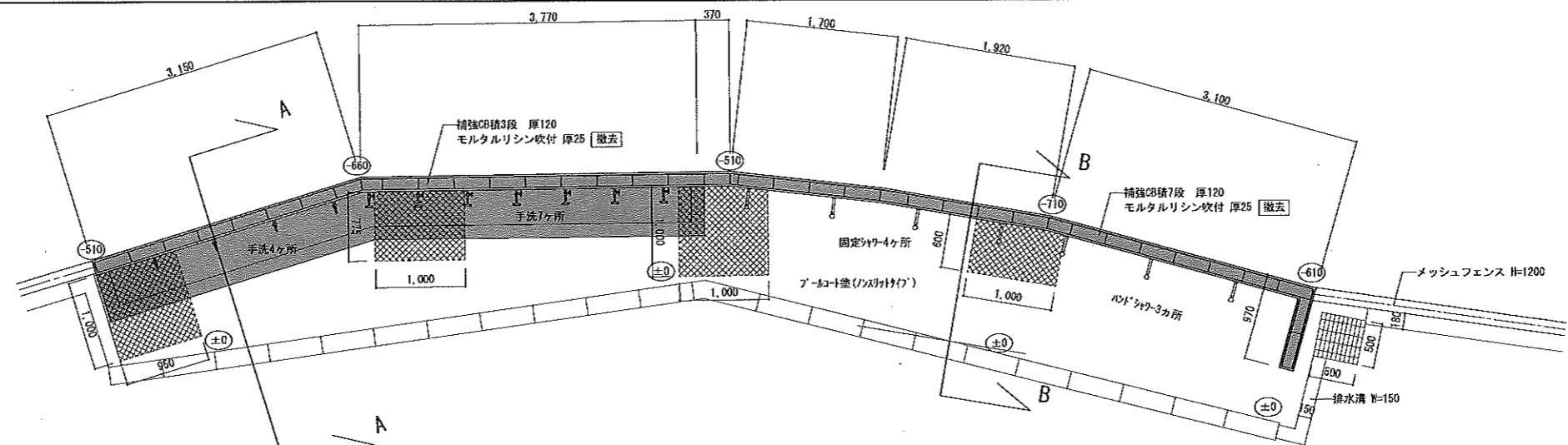
改修範囲

**改修概要**

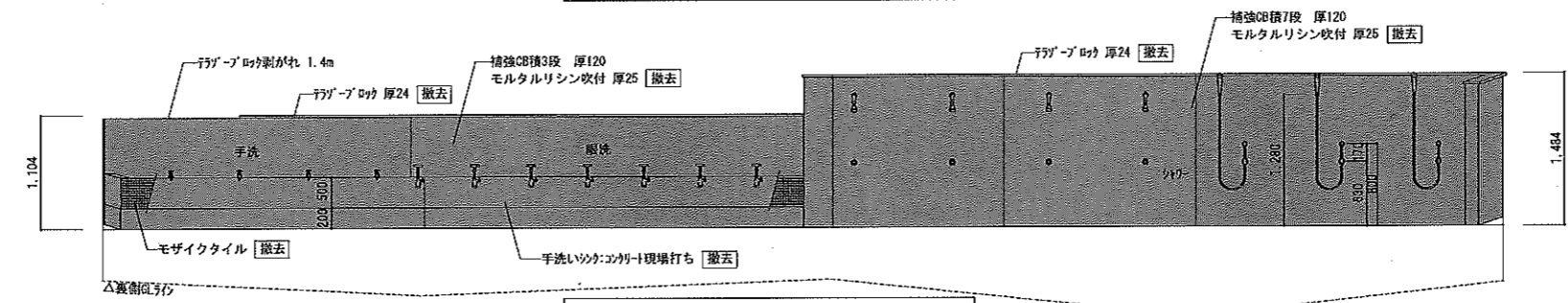
- ・改修範囲内の既存ブロック塀の新設
- ・シャワー・手洗いの新設。
- ・控え壁の新設と、それに伴う土間コンクリートの復旧。

改修平面図 1/200

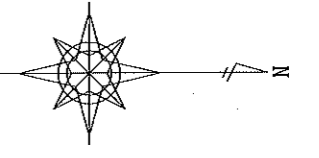
特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	甲
	図名 (三訪小学校)平面図		縮尺 1/200 (A2) 1/282 (A3)	図番 A-05		
				図面提出日		



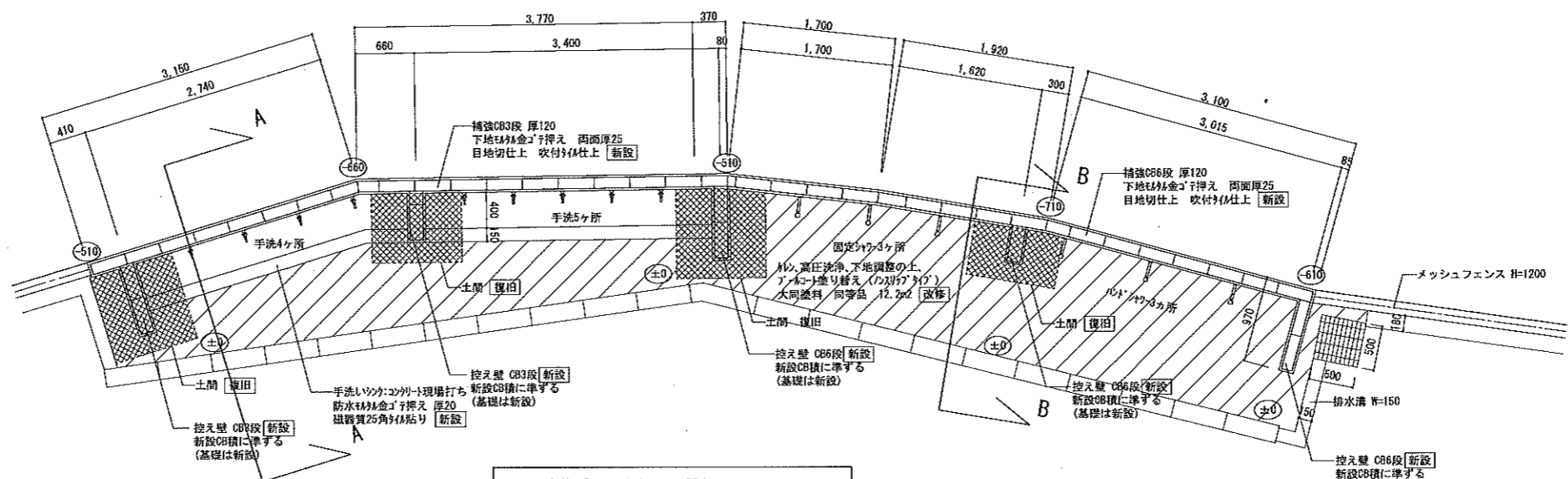
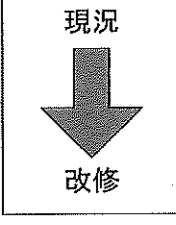
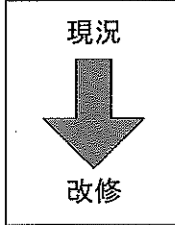
現況ブロック塀平面詳細図 1/50



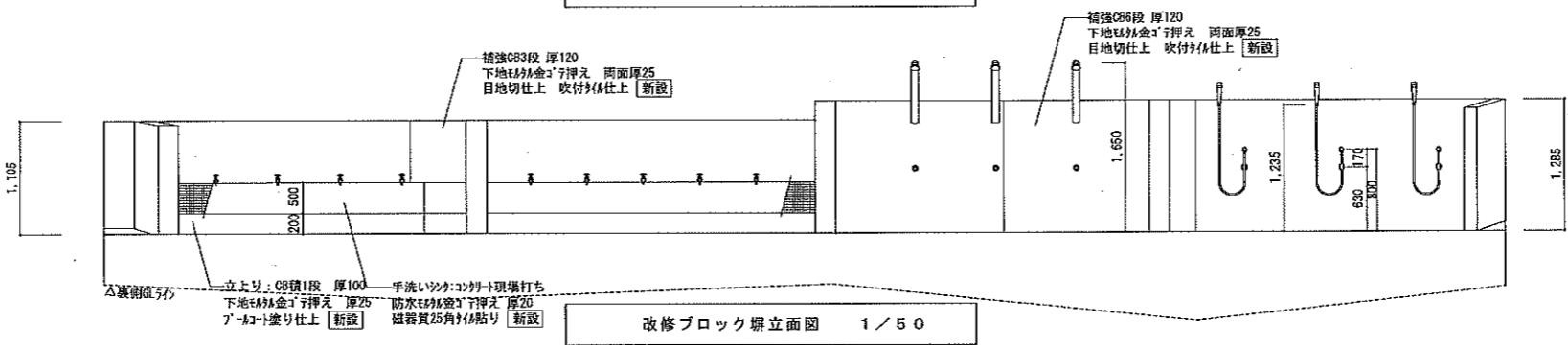
現況ブロック塀立面図 1/50



- <凡例>
- 撤去範囲を示す。
  - 土間切り切範囲を示す。
  - F.L表記



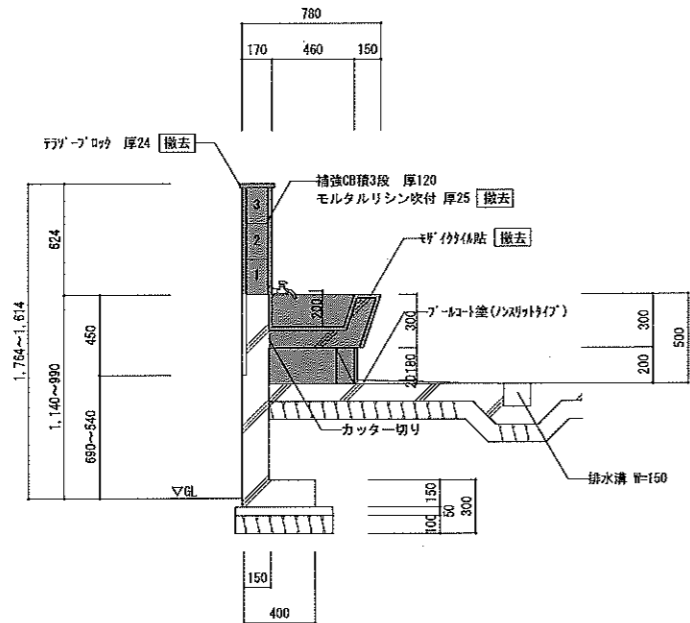
改修ブロック塀平面詳細図 1/50



改修ブロック塀立面図 1/50

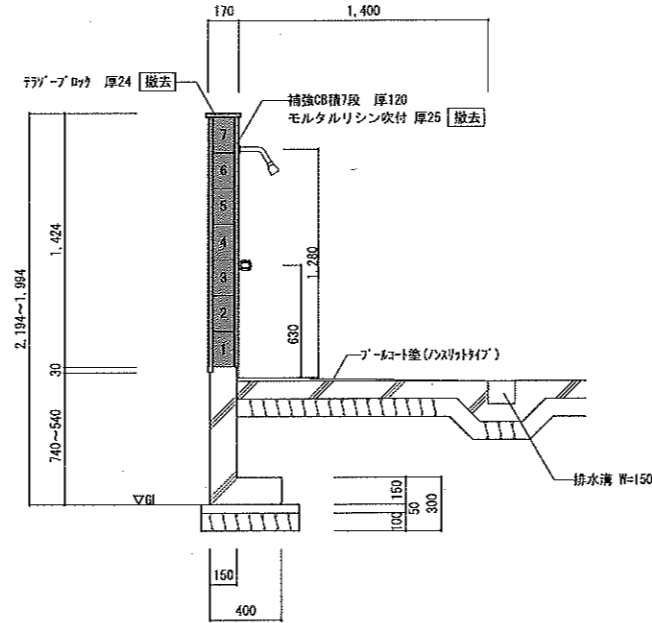
- <凡例>
- 土間復旧範囲を示す。
  - F.L表記

特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名 (三訪小学校) 平面詳細図・立面図	縮尺 1/50 (A2) 1/71 (A3)	図面番号 A-06	図面提出日		



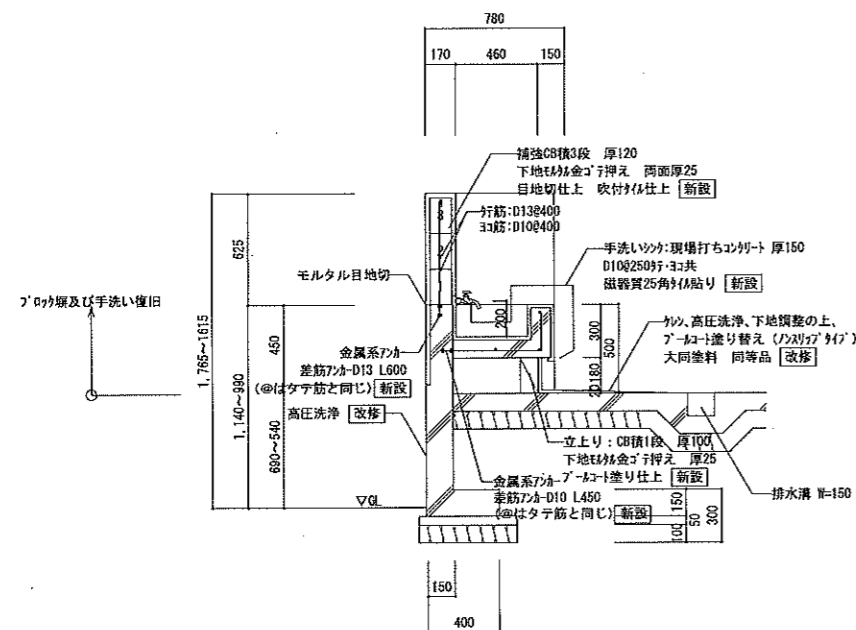
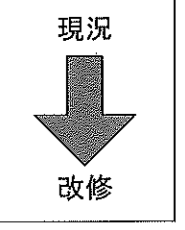
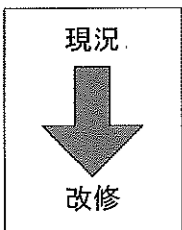
A部断面詳細図

現況断面詳細図 1/30



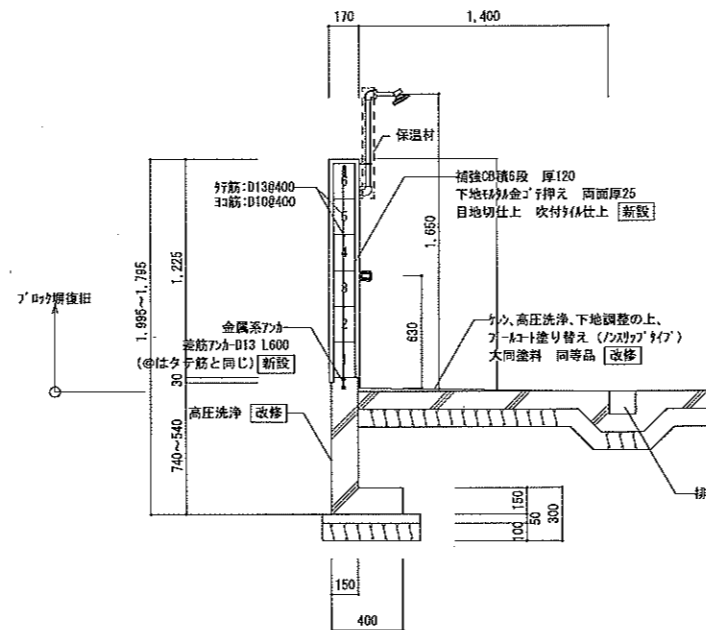
B部断面詳細図

<凡例>  
 撤去範囲を示す。

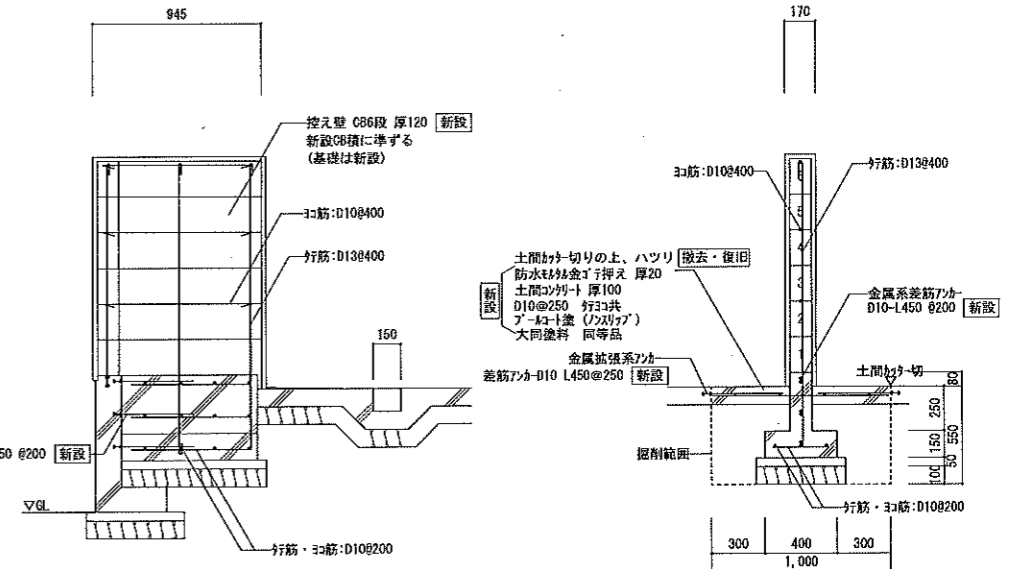


A部断面詳細図

改修断面詳細図 1/30



B部断面詳細図



ブロック及び基礎は金属系アンカーで緊結すること。

控え壁 1/30

特記	※金属系差筋7か-CB積の縦筋は溶接接合すること		工務名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事	図面番号 A-07	承認	管理建築士	印
	図面提出日						
			図名 (三訪小学校) 断面詳細図	縮尺 1/30 (A2) 1/42 (A3)			



図示記号

記号	名称
—	給水管
—	排水管
□	給水栓
⊕ ⊗ ⊙	弁類
⊖	床土掃除口
⊗	排水金物

衛生器具表

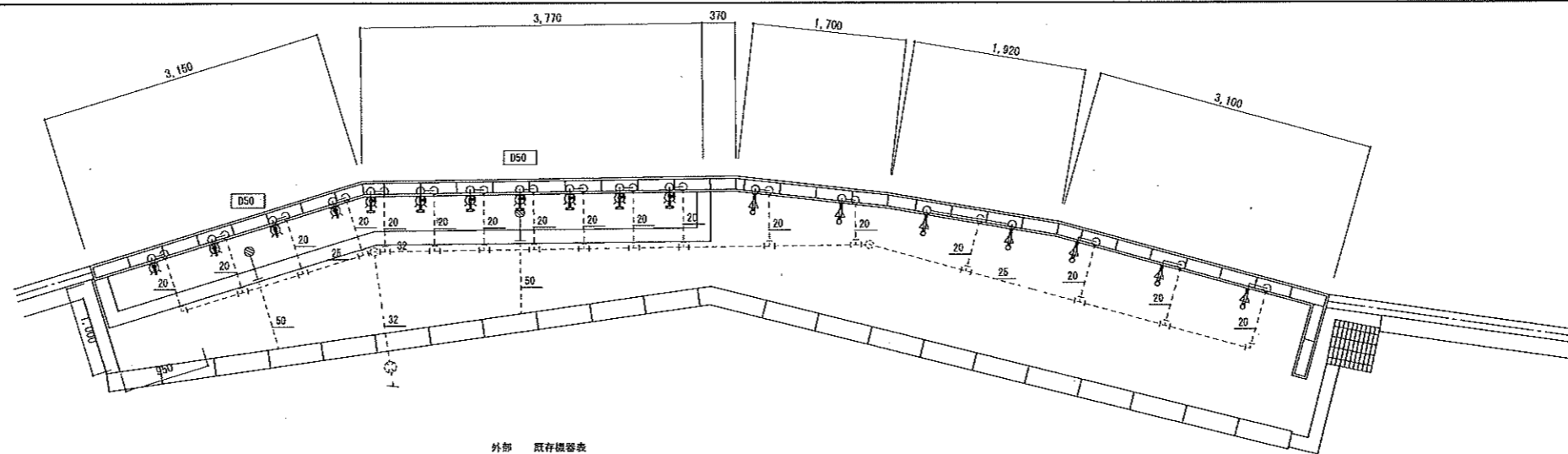
名称	品番	附属品	数量	単位
換水栓	LF-7R-13	吐水口回転形	9	9
固定シャワー	BF-4R	BF-2S-13(埋込形止水栓)	3	3
ハンドシャワー	BF-SC6A	BF-2S-13(埋込形止水栓), BF-30R(フックx2ヶ)	3	3

\*衛生器具型番は参考とし、監督員の指示(器具の調整等)に従うものとする。

特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認		管理建築士	印
	図名 (三訪小学校) 図示記号・衛生器具表			積尺 NS	図面番号 M-02		
				図面提出日			

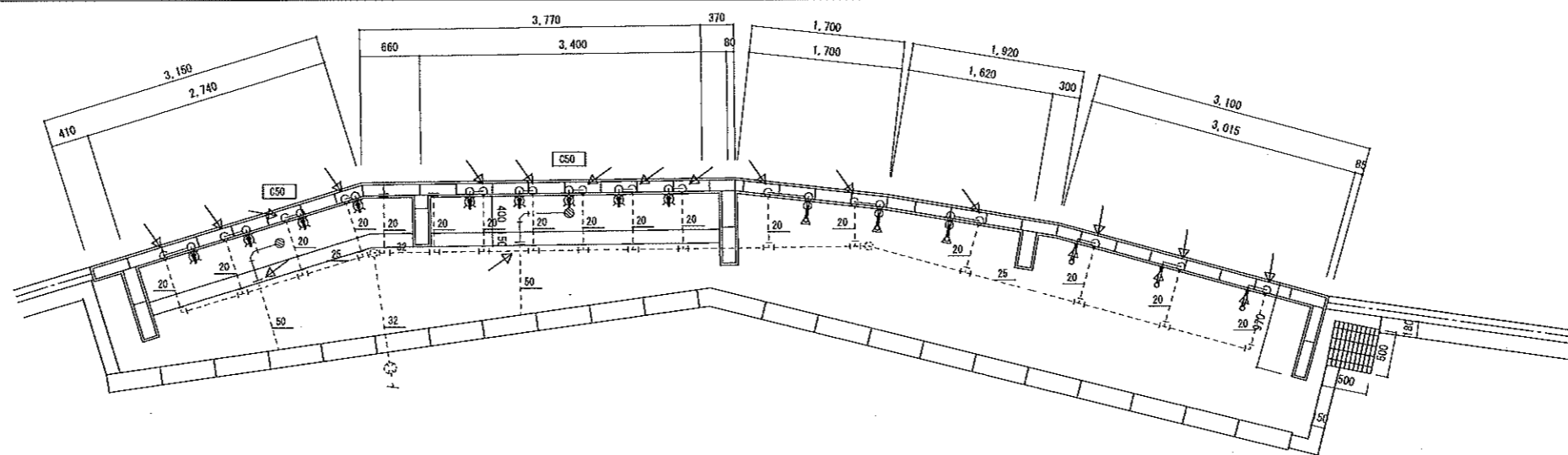
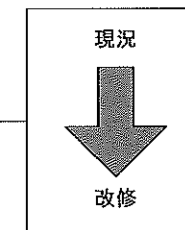
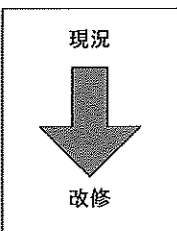
凡例	
——	今回撤去箇所を示す
-----	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。  
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。  
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)  
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。



外部	既存機器表		
単水栓		4	撤去
洗面水栓		7	撤去
シャワー水栓		7	撤去

現況ブロック塀平面詳細図 1/50



改修ブロック塀平面詳細図 1/50

凡例	
——	今回改修箇所を示す
-----	既存箇所を示す
↗	既設接続箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。  
 土間及びブロック復旧は建築工事とする。

特記	工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	(三訪小学校) 平面詳細図 給排水衛生設備	縮尺	1/50 (A2) 1/71 (A3)	図番	M-03	図面提出日